

# 白木槿

大津留公彦の 2017 年の俳句



# 白木槿

大津留公彦の 2017 年の俳句



## まえがきと序文

---

まえがき

2017年の俳句をまとめました。

2015年の「凍天」、2016年の「薬」ひこばえ)」に継ぐ三冊目です。

タイトルの「白木槿」は2017年08月30日(水)のこの句から取りました。

白木槿庭の二割を占めにけり 公彦

毎朝5時に@twryossyさんからtwitterとfacebookで送られて来る季語を使って毎朝作ったものです。

「大津留公彦のブログ2」に毎週月曜日に一週間分掲載してきたものの内、@twryossyさんの季語についての解説を除いて、私の句とそのコメント(★)だけを選びました。俳句と関係の無いことも多いですが、今回は月曜日の纏め時のコメントも掲載しました。

1月1日から始まり12月31日に終わるので歳時記一覧の趣きもありますが8年もやって来ているのでだぶらないようにするため季語が難解なものが多いです。

今年も私が毎日俳句を作る機会を提供頂いている林義雄さん(@twryossyさん)から実に有難い序文を頂きました。

又俳人であり文化団体連絡会議(文団連)の幹事仲間の吉平たもつさんからも丁寧な心のこもった跋文を頂きました。

お二人に深く感謝申し上げます。

今年はかなり遅れてしました。

2018年版は早めに仕上げようと思います。

2018年 神無月 三郷にて 大津留公彦

序文

林 義雄

大津留公彦さんとのSNS上の交流は、私が2009年12月29日ツイッターで始めた「今日の季語」の連載以来今年で九年に及んでいます。

毎朝投稿される、季語を巡る私の小文に基づいて句作を続けて来られた、その昨年度の成果をまとめた三冊目の句集「白木槿」が、このたび発刊を見ることになりました。「今日の季語」がこのような形でお役に立っているのはたいへん嬉しいことで、大津留さんのたゆまぬご精進に改めて敬意を表する次第です。

今回の句集には、俳句ばかりでなく、ご自身のブログに纏められた文章も併せて掲載され、前二集とは異なる趣を見せていますが、ここには、句集というもの自

体にも新境地を開拓する試みとして注目されます。

本句集の「まえがき」にも触れられているように、私の季語連載は、傍題と二十四節気季語は別としてできるだけ同じ季題が重ならないことを原則に運んできたものの、九年目を迎えるに及んではさすがに題材が底を突く様相を呈し始め、それを用いた例句を探すのに困難を感じるような季語が少なからず目に付くようになりました。

折良くも、本年3月16日に連載3000回を迎えるに至りましたので、それを契機に、これまでの掲載記事を基としてそれに手を加えながら投稿を続ける形で転換を図ることにしました。それが来年度以降の句集にいかように反映するのか、そこにも大いなる興味を抱きながら、今後のご健吟を楽しみにしております。

1月

---

2017年01月01日(日)

新しい年2017年を迎えました。

啄木の、「悲しき玩具」の中からお正月の歌を三首。

「何となく、 今年はよい事あるごとし。 元日の朝、晴れて風無し。」

今年の元旦はまさにこの歌にふさわしい日よりだった。

「いつの年も、 似たよな歌を二つ三つ 年賀の文に書いてよこす友」

自分の事を言われているような気がする。

「正月の四日になりて あの人の 年に一度の葉書も来にけり。」

これも自分の事を言われているような気がする。

一番目の歌は友人からの年賀状にありました。

百年以上前の歌ですが啄木の歌が共感を呼ぶのは今と通じる社会の状況と個人の状況があるからでしょう。

新しい年が皆様にとりまして「よい事ある」年となりますように。

初明(はつあかり)届きて句となり歌となる公彦

★新しい年を迎えました。俳句と短歌を今年もたくさん作りたいと思います。新年も皆さんと一緒に句の道、歌の道を歩んで参りましょう。

2017年01月02日(月)

獅子舞に嘯まれて泣きし子ら息災公彦

★五島の妻の実家に帰省した正月に獅子舞が家に上がって来て子らが嘯まれた事がある。その子らが孫達を連れて今日やって来る。

2017年01月03日(火)

お年玉あげて喜ぶじじとばば公彦

★孫二人が昨日から来て泊まっている。

お年玉をあげるのはじじとばばの為のようだ。

2017年01月04日(水)

年神は先祖なるかな手を合わす公彦

★年神はそもそもは先祖だそうです。

2017年01月05日(木)

寒に入る晴れぬ靄靄貫きて公彦

★今日は小寒で寒の入り。天気予報では今日から寒くなる。季節は人間に関わりなく動く。

2017年01月06日(金)

あくまでも白目ばかりの達磨市公彦

★黒目で売られる達磨はないんですかね。



2017年01月07日(土)

出初式陽は暖かく空青し公彦

★明日の出初式に向けて近所の駐車場に櫓が立てられている。きっと明日も今日のように晴れるだろう。

2017年01月08日(日)

鳥総松(とぶさまつ)有難きかな根付くかな公彦

★鳥総松は新年の門松を取り去った後の穴にその松の人一枝を立てておくものですが根付くのでしょうか？

2017年01月09日(月)

1月4日のtwitter上でこういう言葉を見つけた。

「自分の顔のような俳句を作りなさい。自分の顔は世界中に一つしかないから、その自分の顔のような俳句ができたら、これはもう誰も真似ができない。上手とか下手とかいうのを超えて「自分の俳句」と言えるのです。 #津田清子」

これから上手下手を超えて自分の顔の短歌と俳句を作って参りたいと思います。

今日の句にみるように成人式の日七福神巡りを地域の人とするようになって久しい。

昨日まで激しく降っていたが今日は雨が上がりそうだ。

今日は草加に七福神めぐりです。

成人の日雨の中行く草加松原公彦

★成人式の日七福神巡りを地域の人とするようになって久しい。今日は雨が上がって欲しいが、、、。

日本共産党の大会が伊豆の山で開かれている。

自由党の小沢一郎党首が挨拶に登壇した。

少し前までは犬猿の仲だったが今は相思相愛に近い。

少なくとも煮え切らない民進党に比べて共産党との共闘の意思は社民党と共に明確だ。

時代は動いている。

新潟県知事選の野党共闘は大成功だったが民進党は加わっていない。

沖縄でも共闘に民進党は加わっていない。

この沖縄・新潟方式が今後のメインストリームになるような気がする。

2017年01月10日(火)

初場所や波乱の幕開けありぬべし公彦

★二日間で大関・横綱と倒した平幕力士が出た。(銀星・金星には賞金は出ないようだが。)

波乱は常に面白い。

別記事（ここには掲載していません）のように昨日は仲間たちと文京区を歩いた。

最初の会社に入った頃の仲間との触れ合いは楽しい。

その後の会社ではなかなかこんな濃密な人間関係は作れないとの思いは共通だった。

仲間の内一人が既に亡くなっている。

今後も半年に一度は逢おうということになった。

大事にしたい仲間達です。

2017年01月11日(水)

蔵開く一葉馴染みの質屋かな公彦

★文京区啄木歴史散歩のコースの中に樋口一葉が通った質屋があります。

今は女子大学が買い取って土日は無料開放してくれています。

2017年01月12日(木)

絵双六京を目指して宿いくつ公彦

★今朝の林先生のFacebookに書かれた小林恭二さんの句

京にゐて京目指しをり絵双六

を受けてのものです。小林さんの俳句の本を俳句の先輩からこれがいいと紹介されて読みました。小林さんと今日Facebook友達になりました。

2017年01月13日(金)

猿回し下手も拗ねるも芸のうち公彦

★今日は13日の金曜日だ。気をつけよう。

2017年01月14日(土)

旅始曾良や芭蕉や草加宿公彦

★先日草加七福神巡りをしました。

曾良の像が旧街道と新街道の境目で道案内してくれ、草加松原の600本以上の松並木を芭蕉の像が案内してくれました。草加が私の今年の旅始めでした。

2017年01月15日(日)

繭玉や東北にジャワに願かける公彦

★繭玉は小正月または2月初午の日に飾る餅花の一種。農作物の豊作を予祝する餅花が、養蚕と結びついて生れた農村の習俗。

ジャワでも同じものを見た事があります。きっと東アジアには同じような風習があるのではないのでしょうか。

2017年01月16日(月)

高松や釜揚げ饅頭の湯気に君公彦

★高松に行くといつも饅頭を食べていた。今はうどん県となり、日本一の地域ブランドだ。

2017年01月17日(火)

凍風の長崎港の家族かな 公彦

★昔家族全員で五島・大分と帰った事がある。

五島に行く船から見た長崎港は凧であった。

地域の新春の集いが終わった。

新日本歌人の原稿書きも終わった。

これから啄木祭などの準備をします。

なかなかのんびりは出来ません。

2017年01月18日(水)

身罷りし人一人いて霰降る公彦

★Jリーグを創った木之本興三さんが亡くなった。謹んで哀悼の意を表します。

2017年01月19日(木)

いつの間に枯菊父に焚かれけり公彦

★父は菊を育てるのが趣味だった。その鉢に入った菊を歩いて学校に持って行った事もある。

2017年01月20日(金)

寒替りそろそろ年貢の納め時公彦

★寒替は24節季の一つで大寒の事。

2017年01月21日(土)

菜を洗うがばいばあちゃん夕陽差す公彦

★「菜を洗う」に映画のワンシーンを思い出しました。

2017年01月22日(日)

侘助やその清純に息をのむ公彦

★侘助は誠に綺麗である。そして清純である。

2017年01月23日(月)

65歳の誕生日を機に仕事を辞めることになりました。

当面は失業保険を貰いながらフル年金を貰うことになります。

まだ今後の事は流動的ですがしばらく時間が出来ることになりそうです。

当面はやれずに残しているもろもろの事をやりたいと思います。

その後は啄木の勉強を中心に読書したいと思います。

思えば23歳から42年間も仕事が出来ました。丈夫な体に産んで、育ててくれた今は亡き両親と

、42年間共に歩んでくれた妻に感謝します。

下町や切干大根軒に吊る公彦

★浅草の路地道だったと思うが網に入れて切干大根を吊るしていた。

2017年01月24日(火)

寒茜精神浄化深呼吸公彦

★偶々に漢字九個で句となりぬ

2017年01月25日(水)

碎氷船曲がりしままの海の道公彦

★写真を見たまま句にしました。

2017年01月26日(木)

霜柱ザクザク「云々」踏んで行く公彦

- こんな歌も作りました。



云々をでんでんと読む総理にはでんでん虫は云々虫か公彦

大学で勉強してない総理には漢検一級の文字は難し公彦

2017年01月27日(金)

出稼ぎの荷物は重し土漠の地公彦

★出稼ぎを季語とした例句は少ない。土漠の地はイラクである。

2017年01月28日(土)

爛酒や仏と交わせしこともなし公彦

★父は酒を家では飲まなかったので下戸だと思っていた。しかし親戚の所では酒飲みだと言われた。それを聞いたのは晩年だった。今は机の横の写真立ての中で付き合ってくれている。

2017年01月29日(日)

朔風に押されて一步また一步公彦

★向かい風の北風はしんどいが押されれば重い足取りも軽くなる。

2017年01月30日(月)

貉来る山里に在る妹ら公彦

★妹らは葡萄を作っているが山の動物との闘いのようです。

2017年01月31日(火)

雪下ろし下ろした雪のすぐ近し公彦

★雪国の風景は南の国の出身者には目新しい。

## 2月

---

2017年02月01日(水)

犬猫の如何顔する寒灸(やいと) 公彦

★最近は灸のミニブームであるという。若い女性がするという。更には犬猫にもするという。犬猫が喜ぶとはとても思えないが。

2017年02月02日(木)

すれ違う寒柝の人迷いなし 公彦

★寒柝(かんとく)は冬の夜に打ち鳴らす拍子木の音 知らない言葉でした。

2017年02月03日(金)

豆撒きや六十五歳を呼び寄せる 公彦

★私の誕生日は二月十七日

あと二週間である。

2017年02月04日(土)

別れ告ぐ立春大吉日本橋 公彦

★仕事を辞めます。

2017年02月05日(日)

由布の山一気に煙る畔火かな 公彦

★害虫駆除の為に畑を焼くのは大事だが禁止された所では薬剤を使うのだろうか？そこでは無農薬農業は出来にくくなるのではないだろうか？

愚者の奇想が畦火を通して束の間の幻影を生んだ。

2017年02月06日(月)

我ら呼ぶ戸隠奥社牡丹雪 公彦

★四十年前の記憶です。あれは結婚前だったのかな？

2017年02月07日(火)

車窓から安達太良までの春田かな 公彦

★嘗て歌の友人達と故郷巡りで訪れた栗駒へ行く新幹線の中から見た景色です。

2017年02月08日(水)

妻と犬と初音と共に梅林へ 公彦

★横浜の根岸森林公園に梅を見に行きました。

梅は種類が多く12月から3月まで咲いているので何部咲きというのはいないそうです。

2017年02月09日(木)

紅梅や職引く時の近づきぬ 公彦

★先週行った横浜の根岸森林公園は梅が盛りだった。来週職を引く。

2017年02月10日(金)

ゆさばりや例句は全く見つからず 公彦

★ゆさばりはブランコの事。例句を探すのが常だがこの季語の例句は見つからなかった。

2017年02月11日(土)

白魚の色を変え行く鍋奉行 公彦

★出汁加減で白魚も色がついて行く。

2017年02月12日(日)

一の午狐の尻尾天を指す 公彦

★一の午は2月の最初の午の日。稲荷神社で祭礼が行われる。

2017年02月13日(月)

11日(土)は午後に歌人九条の会の短歌サロンで新日本歌人代表幹事の小石雅夫さんによる湯川秀樹さんの短歌の話を聞いた。非常に興味を持った。

夜は市民グループ19団体の共催で選挙マルシェという集会があった。

政党全会派が参加しました。選挙運動の自由化など公職選挙法の改正に一步進むかもしれない。いずれも詳しく書くかも知れませんが紹介しておきます。

12日（日）は午前草加太鼓橋ロードレース（10km）に参加しました。

タイムは悪かったですが草加の町を楽しめました。（まだ足が痛い）

午後は新日本歌人我孫子支部・湖畔短歌会に参加しました。

新松戸公民館で今後行います。

退職まであと三日です。

会社の退職は何度か経験していますが定年退職というものには特別の感慨があります。

別の会社で更に仕事をする可能性もありますがとりあえず明後日定年退職致します。

定年という響き吐く春景色 公彦

春景色付けの具体が見つからず 公彦

★吟ずるはものを通して心よむ

2017年02月14日(火)

紅貝や婦女暴行罪とつばやきて 公彦

★四十年以上前の五島の浜での出来事である。

元の会社の友人が倒れて打ち所が悪く頭を打ち脳挫傷で現在入院しています。

お見舞いに行きましたが、記憶も何割か無くなるかもしれないと言われているそうです。話は出来ませんが今は目を開け続けることもできない状態です。

倒れる三日前に一緒に啄木歴史散歩をしたばかりで全く健康だったので大変驚きました。

明日は何が起こるか分かりません。

用心して65歳を暮らしたいと思います。

2017年02月15日(水)

春の水定年退職の朝温む 公彦

★今日で今勤めている会社を定年退職します。この後の身の振り方や如何せん。

2017年02月16日(木)

こま返る草(こまがえるくさ)に朝日の届きけり

★「駒返る草」とは枯れていた草が春になり青々としている様子。

そもそもは、年寄りが再び若さを示すことを言ったもので「駒返る」からとか。

2017年02月17日(金)

春の霜愛犬の尿に絆される 公彦

★愛犬アベロの散歩時の情景です。

2017年02月18日(土)

野球部の掛け声揃う雨水かな 公彦

★江戸川土手を走っていたら河原でどこかの野球部が走る練習をしていた。掛け声が見事に揃っていた。きっと強いのだろう。

2017年02月19日(日)

玉葉橋まで土手駆け抜けた草芳(かぐわ)し 公彦

★玉葉橋は埼玉県吉川市と千葉県野田市を結ぶ橋。

土手にも春の草が匂う。

秋よりも春の方が匂うという実験結果がある。

2017年02月20日(月)



2月15日に退職し2月17日は65歳の誕生日でした。

2月17日にfacebookに書いた書き込みです

「今日は65回目の誕生日で三桁の人にお祝いを頂きました。大変嬉しいです。とても全ての方に個別にお礼が出来ませんのでここで皆さんにお礼致します。どうも有難うございました。

定年退職と誕生日が続きメモリアルな週となりました。発信力を強めて元気な「準高齢者」でありたいと思います。ブログの開きが遅くご迷惑をおかけしてますが現在調査中ですのでしばらくお待ち下さい。皆様、今後ともどうぞ宜しくお付き合い下さい。」

改めてfacebookの威力を思い知った。

この映像を送って頂いた人が居てランニング途中の土手を降りながら思わず立ち止まり見入ってしまった。

なんだか元気を貰った。

【MV full】 涙サプライズ / AKB48 [公式]

```
<iframe width="560" height="315" src="https://www.youtube.com/embed/pKQlKygAMrg"
frameborder="0" allowfullscreen></iframe>
```

皆さん

改めてありがとうございました。

今後ともよろしく申し上げます。

かぎろひの墓所をのぼる潮の風 公彦

- 五島の墓所は海に面した陽当たりのいい斜面にある。

2017年02月21日(火)

春の海のたりの たりかな読みたりし 公彦

★「春の海終日のたりのたりかな」という蕪村の句を国語の時間に変なところで切って読んだ記憶がある。

最近可能な限り江戸川土手を走っている。

曇天で少し肌寒かったけれど今朝も走りました。

3月12日には<http://www.sokafusasaramarathon.jp/>草加松原太鼓橋ロードレースに初めて参加します。(10kmです)

今度の日曜日だと今気づきました。これは毎日走らねば、、、

2017年02月22日(水)

吾よせよ匂うばかりの木の芽山 公彦

★木の芽の溢れる山を歩きたい。

2017年02月23日(木)

「構ひ時」巡りて朝の盛り上がり 公彦

- 「構ひ時」とは交尾期のこと。朝から某サイトではこの話題で盛り上がっている。

2017年02月24日(金)

出開帳鳩は首から進みけり 公彦

★鳩はまず首が先に出て体が付いて行く。

2017年02月25日(土)

貌鳥のちちちと走りちつと啼きぬ 公彦

★かおどりは春の鳥の総称 実験句です。

2017年02月26日(日)

胡蝶舞う猫の墓所の上あたり 公彦

★庭の隅には猫のタビサが眠っている。いまその上にサイネリアが咲いている。

2017年02月27日(月)

片栗の花のひとゆれ山を消す 公彦

★片栗の花は山にこそ相応しい。

2017年02月28日(火)

太平雪庭の小鳥ら飛び回る 公彦

★リンゴを庭のテーブルの上に置いていたら一匹の鳥が食べてもう一匹がそれを追いかけて行った。

## 3月

---

2017年03月01日(水)

耕人となりて狭庭は花盛り公彦

★急に我が家の庭は花や木で一杯となった。

2017年03月02日(木)

春愉し落語の落ちの決まるなり公彦

★たくわんが卵に化ける落語を知って。

2017年03月03日(金)

孫思う母の居ますや雛（ひいな）の間公彦

★新婚時代二間しか無いところに長女が生まれ、母が送ってくれた十段の雛飾りで一部屋が一杯になった思い出があります。娘は無事二男児の母となりました。最近雛飾りは日の目を見ませんが母は天国から見守ってくれて居ます。

2017年03月04日(土)

薬師寺の塔の突き刺す蕨餅公彦

★蕨餅は関西のもの。関東では葛餅。

2017年03月05日(日)

啓蟄の蚯蚓談義や犬背伸び公彦

★陽気が良くなりみみずも犬も外に出たがります。

2017年03月06日(月)

漸くに墓穴を出て世間知る公彦

★春になって自分のいた世界は狭かったと自覚するヒキガエルでありました。

2017年03月07日(火)

新日本歌人の常任幹事の同僚の神奈川の河村澄子さんが亡くなったと今日連絡があった。

入院されていたが退院されて快方に向かっていると思っていたのに突然の訃報でした。

22日の通夜か23日の告別式に参列すること考えています。

昨年発行された平和万葉集巻四には河村澄子さんはこういう歌を寄せていました。

今夜また振る幾万のペンライトうねりとなりて政府を糺す

沿道の花屋も笑みて両手ふる戦争法ノーのデモのわれらに

まさに闘いの中でなくなった人生である。

河村澄子さんのご冥福をお祈りします。

合掌！

巢燕や振り向く先の筑波山公彦

★今朝のジョギングでは曇天の中に雪を被った筑波山の上部が見えた。

2017年03月08日(水)

黄に染まる春堤の先筑波山公彦

★三郷の江戸川土手は今全面にからしなが咲き真黄色である。ホットスポットなので放射線量が高く採る人はあまりいないが。

2017年03月09日(木)

糸切れし凧やどの空飛翔せる公彦

★今は亡き父が孫の為に凧を空高く飛ばし、糸が切れてしまい行方不明となったという。

私が海外で仕事をしていた時の事である。

2017年03月10日(金)

土手の黄に包まれながら蝶生る公彦

★三郷の江戸川土手は現在からし菜の目の覚めるような黄色一色である。

2017年03月11日(土)

被災地は柔らかに吹け雪解風公彦

★今日は東日本大震災の6周年。幼稚園の卒園式の頃だった子どもは小学校の卒業式を迎えています。当時浦安から五島に一時避難した孫たちも小1と小3になります。地震と原発事故の被災者にエールを送ります。

2017年03月12日(日)

濁世には関わりのなき寝釈迦かな公彦

★釈迦のように生きたいものだが、、、。

2017年03月13日(月)

<https://twitter.com/twryossy/status/841015946730860548...>

一泊で岐阜・長良川で行われた新日本歌人の全国幹事会に参加しました。

十八楼という150年前からある老舗旅館に泊まりました。

十八楼のいわれはこうだそうです。

1688年（貞享5年）俳聖・松尾芭蕉翁が岐阜を訪れた際、長良川畔にあった水楼を「十八楼」と名づけ、かの有名な「十八楼の記」を記しました。

このことは地域にとってもかけがえのない誇りとなり、子に孫に語り継がれておりました。

それから170年余経た江戸時代末期、この誉れが忘れ去られていること悲しんだ当館の先祖が、地域の宝を再興しようと一念発起し、1860年（万延元年）に自らの旅館の名前を「山本屋」から「十八楼」に改名しました。

おもしろうてやがて悲しき鶺舟哉



元禄元年（一六八八）芭蕉四十五歳の長良川での作である

句意

鶺鴒舟が目の前で、花やかな篝火を焚きつつ活発な鶺鴒飼を繰り広げる時、面白さはその極に達するが、やがて川下遠く闇の彼方へ消え去るにつれて、何とも言い知れぬ空虚な物悲しさだけが心に残る。

長良川温泉はいい所でした。

議決した声明の一つはこれです。

内閣総理大臣安倍 晋三 殿 宛に送りました。

――

内閣総理大臣安倍 晋三 殿

「テロ等準備罪」＝「共謀罪」＝「第二の治安維持法」の新設に反対します！

貴内閣は「テロ等準備罪」法案を三月二十一日に閣議決定し本通常国会に上程されました。

共謀罪導入を盛り込んだ「組織犯罪処罰法改定案」は2003年以降、国会に3度提出されましたが、いずれも廃案になりました。

すべての市民が監視・捜査の対象となる「テロ等準備罪」を新設する「組織的犯罪処罰法改正案（通称：共謀罪法案）」の危険な本質は、犯罪は行為であり、思想や内心は処罰しないという日本の刑法の根本原則を覆すことです。

憲法19条の思想及び良心の自由を侵すものであり、憲法第21条で保障された「表現・言論の自由」、「集会・結社の自由」を侵害し、自由に物を言えない監視社会を生み出します。「国際組織犯罪防止条約」を締結する為には「共謀罪」は全く必要ありません。条約締結後に国内法を新設した国は二国しかありません。又、国連の「テロ行為を防止するため」のリストには「国際組織犯罪防止条約」は入っていません。

この法律は共謀罪という特別な犯罪類型を新たに創出するものではなく、幅広く一般犯罪について「共謀」段階から処罰の対象にするものです。その為277の犯罪について共謀罪が成立すると指摘されています。

犯罪の計画や相談、合意をただけで処罰することは、警察をはじめ国家権力が日常的に国民を広く監視することになります。

「個人の尊厳」と基本的人権が国家権力によって不断に脅かされる状況となります。共謀罪は、憲法の基本的人権の尊重との関係で、重大な問題を孕みます。とりわけ、我々のように短歌等文化活動に関わる者や市民運動団体の活動に重大な侵害、萎縮的影響をもたらす恐れがあります。又電話の盗聴やメール、SNSの傍受が「共謀」の立証の為に横行する社会となる危険があります。

法案は共謀した時点で組織的犯罪集団とみなされるので短歌の集まりも「共謀」があれば組織的犯罪集団となってしまうかも知れません。

幟等の物品を購入する等の行為だけで「共謀」として処罰される可能性があります。物品を購入すること自体は犯罪ではありません、客観的危険性もないので、結局は、共謀に基づき犯罪をする意思を持っていることで処罰することになります。

一般人か犯罪集団かを決めるのは、政府や警察であり、政府の気に入くない人たちには、犯罪集団のレッテルを貼ることができます。

これは逮捕者が数十万人に及んだ治安維持法の現代版とも言えるものです。

岐阜・長良川の地に集まった私たちは、貴殿に「共謀罪」法案を撤回又は廃案にする事を強く要望します。

2017年3月27日 新日本歌人協会 全国幹事会

(連絡先 〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-6-301 新日本歌人協会  
電話03-6902-0803)

栗駒や雪形駒の形かな公彦

★栗駒山に行った事がある。残雪は模様を残していた。

2017年03月14日(火)

幣辛夷共感型の批評たれ公彦

★ちょっと無理筋かもしれないが、ちょっと今思っている事です。

2017年03月15日(水)

遍路笠同行二人濡れいるか公彦

★雨に打たれて遍路巡りをしてみたい。

2017年03月16日(木)

桑の芽の柔らかきもの固きもの公彦

★我が家の庭の桑の芽も膨らんでいます。触って見たらいろんな固さがありました。

2017年03月17日(金)

荒東風や隣の少年青年に公彦

★隣に遊びに来るお孫さんは我が家の庭の境に置いてあった鳥の陶器で遊ぶ少年だったが今や少年とは言えなくなった。

2017年03月18日(土)

赤椿蕾も何も赤きかな公彦

★我が家の椿はまだ蕾です。

2017年03月19日(日)

行けざりし子持鯊釣り今更に公彦

★新入社員の頃会社の同僚達と三浦半島に鯊釣りに行く筈で家を出たが行き会わず携帯もない時代で断念した苦い思い出が今更思い出される。

2017年03月20日(月)

桜咲け河津・彼岸に吉野・八重公彦

★今度の4月9日の花見は吉野か八重か？

2017年03月21日(火)

四十二年大沼・小沼氷消ゆ公彦

★これではわかりませんね。新婚旅行で森岡・北海道と啄木を追って行ったのが四十二年前の今頃です。

2017年03月22日(水)

菊分つ父眼裏の深くあり公彦

★父は庭に菊を沢山咲かせていた。それを咲かせる為に一年中世話をしていた。

2017年03月23日(木)

骨組みのあらわに見えて屋根を葺く公彦

★写真を見たままです。現在日常では行われてない季語は難しい。

2017年03月24日(金)

雪崩るるを恐れ輝く雪溪へ公彦

★昔会社の同期生と山に行っていたが雪溪を通過する時は緊張した。

2017年03月25日(土)

みちのくや白き花咲く春祭公彦

★栗駒山に行った記憶である。菅原文太の生まれた家もあった。

2017年03月26日(日)

霞立つ行橋の山父と見し公彦

★小さい頃伯母のいた行橋に一度だけ父と行った記憶がある。山は桜が満開で驚く程綺麗で霞がかかっていたのを絵に描いた覚えがある。

2017年03月27日(月)

友人の森下實さんが亡くなった。

高山から出てきて三郷に出来たみさと製本に努め最後は社長も務め、町内会でも革新運動でも地域のまとめ役であった。

追悼の歌を作りました。

森下さんへ            大津留公彦

突然に君亡くなりしと電話あり言葉を無くし携帯見つむ

一昨日は庭に居りしと聞きし君今朝亡くなりしと今聞きており

高山から出て出版の仕事をし我らが会長たりし君死す

まさかまさかこんなに早く逝くなんてそんな馬鹿なそんな殺生な

頂いた最後の言葉は「啄木祭頑張ってるね」という一言

健康フェスタの焼きそば作りが最後なり一緒にやった活動のこと

代々木公園の集会で会いし君なりし暑い暑い日でありしかな

花見には君は欠くことの出来ぬ人今度の日曜日君は居ない

雨上がる岸に並べる観潮船公彦

★岐阜・長良川の川べりで鵜飼の船が並ぶのを見て作りました。

2017年03月28日(火)

弥生なる天守閣世を睥睨す公彦

★昨日登った岐阜城の天守閣からの眺めは素晴らしく世の中を平定した気分になった。

2017年03月29日(水)

ゴム風船消えて真っ赤な花となる公彦

★庭のチューリップが揺れてます。

2017年03月30日(木)

初雷や土手の黄の花薺かす公彦

★江戸川土手はこの時期からし菜の黄で覆われている。

2017年03月31日(金)

春心妻とま向かうこと増えし公彦



★昨日は妻と六義園に行きました。四十二年前結婚式の案内状に載せる写真を撮って貰う為に仲間と行った所です。それ以来の訪問で昨日はその結婚式の記念日でした。枝垂れ桜が綺麗でした。

## 4月

---

2017年04月01日(土)

早蕨の伸びてゆっくり手招きす 公彦

★蕨の姿は手招きしているように見えます。

2017年04月02日(日)

凍戻(いてもど)る庭に小鳥の現れず

★鳥は正直です。

2017年04月03日(月)

朝鮮半島情勢が緊迫している。

今日は中国国内は飛行機が飛ばないという。

今日何かが起こるかもしれない。

また、米軍は4月26日にサイバー攻撃をかけてネットワーク網を混乱させた上で先制攻撃をするという噂もある。

北朝鮮が先制攻撃をしたらこのサイバー攻撃も意味はない。

開戦させないことが一番大事です。

—

4日は松戸の21世紀の森公園の春のぶらり旅に年金者組合の仲間と参加しました。

天気が良くていい時間を過ごしました。

年金者組合はお墓も扱っているので「お墓を買えば長生きするよ」と言われました。

1人は20万で2人なら30万だそうです。

帰ってかみさんにいいましたところ、自分は検体するので自分の分だけ買ってと言われました。

死んでまで縛られたくないそうです。

寅さんの御前様ではないが、困った～、困った～。

田楽を賞味し子規庵巡りけり 公彦

★先日友人たちと子規歴史散歩をした時に鶯谷の笹の雪で田楽を食べました。

2017年04月04日(火)

清明や朝陽に向けてペダル漕ぐ 公彦

★火曜日は朝四時から自転車のペダルを漕いでいます。

2017年04月05日(水)

花明(はなあか)り匂いと共に戴きぬ 公彦

★花明(はなあか)りは日本の美学ですね。

花明り孫と手繋ぎ帰る道 公彦

★孫と市川南部公園でよく遊び桜並木を娘夫婦の家まで帰って行った。

2017年04月06日(木)

花の冷えあなたはこの世にいでまさず 公彦

★知人が亡くなった。

花は真っ盛りで9日の花見でお逢い出来るかと思っていたのに。

2017年04月07日(金)

養花天(ようかてん)見上げているは犬とわれ 公彦

★雨模様ですのでお散歩に行けない犬と我です。

2017年04月08日(土)

青柳や雫の中にありにけり 公彦

★雨の雫の中に春の景色が見えた。

2017年04月09日(日)

草摘みは晴れたる空と母の顔 公彦

★叔母や母と野草採りに行った事が思い出される。

2017年04月10日(月)

最近亡くなった三人のうち、二人は歌友であり一人は地域の友人だ。

それぞれ81歳、72歳、72歳で昔なら高齢長寿だが今はまだまだこれからという年代だった。

残念ではあるが、私はそれぞれの人のやろうとしたことを引き継いで行きたいと思います。

宮本百合子は小林多喜二の死について、戦後に次のように述べたことがあります。

『人間一個の価値を、最大に、最高に、最も多彩に美しく歴史のうちに発揮せよ。小林多喜二の文学者としての生涯は、日本の最悪の条件のなかにあつて猶且つ、そのように生き貫いた典型のひとつである』

今日も頑張ろう！

よな曇ラジコン飛行機空を裂く 公彦

★江戸川河川敷でラジコン飛行機を飛ばしていたサーボモーターの音が最初は子どもの集団の雄叫びかと思った。

2017年04月11日(火)

矢作川小鮎の暴れ紋となる 公彦

★昔名古屋に行きたての頃の思い出です。

2017年04月12日(水)

雀の子孫と遊べり入学日 公彦

★一昨日は二人目の孫の小学校の入学式だった。雀の子も祝福していた。

2017年04月13日(木)

桃の花ジョギングの足止めさせる 公彦

★昨日のジョギングの途中で鮮やかな桃の花に逢いしばし見とれました。

2017年04月14日(金)

春の蚤取りし愛猫土中に 公彦

★愛猫タビちゃんは去年亡くなった。庭の土の上には春の花々が咲いている。

2017年04月15日(土)

杉の花につくき君は雄なるか 公彦

★妻を毎年悩ます杉花粉は雄だと知った。

2017年04月16日(日)

畑に生き畑に死すなり種案山子 公彦

★種案山子は田になる頃には捨てられる。

2017年04月17日(月)

リスボンの坂道干鰯溢れけり 公彦

★ポルトガルに行った時に干鰯がそこら中に干してあった。

2017年04月18日(火)

食べる草母は目聡く野に遊ぶ 公彦

★あまり多くはないが母と野に遊んだ時の記憶である

2017年04月20日(木)

穀雨受け目覚めし如き狭庭かな 公彦

★雨によって庭は元気を取り戻す。

2017年04月21日(金)

鶏合わせジャワ人血湧き肉躍る 公彦

★インドネシアにいた時に見た光景です。アジア全体に闘鶏はあるのでしよう

。</p></article><article class="tl-tweet" id="tw855191888915177472"><p class="tl-text">

2017年04月22日(土)



李花茫洋未生の我を観るごとし 公彦</p>

★延々と広がる杏の花の写真を観て出来た句です。

揚雲雀江戸川の上絡み舞う 公彦</p>

<p class="tl-text">★ジョギング中の景色です。(二日遅れの投稿です。)</p>

<p class="tl-posted"><a href="http://twilog.org/ootsuru/date-170421"><span style="color:#038543;">

2017年04月23日(日)

茶摘唄聞きて「日本」か江戸俳句 公彦

★山門を出れば日本ぞ茶摘唄(田上菊舎)を味わっての句である。

2017年04月24日(月)

母子草気になる花となりにけり 公彦

★母の存命中は気になる花ではなかったが。

2017年04月25日(火)

鯨曇多喜二もきつと見上げしや 公彦

★南国出身なのでにしんぐもりという空は見た事はない。  
きつとそうだろうという事です。

2017年04月26日(水)

春蘭(はるたけなわ)雲なき空に吸われけり 公彦

★啄木の十五の心に吸われました。

2017年04月27日(木)

半袖も長袖もあり春干潟 公彦

★写真を見ての句です。

2017年04月28日(金)

雉の声ひとときわ高し妻恋うや 公彦

★尾っぽを振って赤いトサカで見映えの良い方が雄ですね。

2017年04月29日(土)

永日(えいじつ)や今日もなさねばならぬあり 公彦

★毎日なさねばならぬ事がある。これは幸せと思うべき事なのだろう。

4

[2017年05月01日\(月\)](#)

おは！twitter俳句（滝壺）と芭蕉の裏見の滝

今日の記事に日光の裏見の滝の事を書いた。

ここを訪れたときに作ったであろう芭蕉の句はこれである。

暫時は 滝にこもるや 夏の初（しばらくは たきにこもるや げのはじめ）

<句意> 折から、仏道の夏籠くげごもりも始まろうととしているが、こうして裏見の滝の岩屋にこもり、しばらく清浄な気分で過ごすのも、いっそう精進の気持ちを高めることになるのだ。

芭蕉の文章はこれである。

二十余丁、山を登って滝有り。岩頭の頂より飛流して百尺（はくせき）、千岩（せんがん）の碧潭（へきたん）に落つ。岩窟に身をひそめ入りて、滝の裏より見れば、うらみの滝と、申し伝え侍るなり。

<現代語訳>

（東照宮から）二十余丁（注：2 km強）ほど山を登ってゆくと滝がある。岩が洞穴のようにくぼんだところの頂上から百尺も飛ぶように流れて、たくさんの岩が重なり合っている青々とした滝壺に落ち込んでいる。岩屋になっているところに身をかがめて入り込んで滝の裏側から眺めるので、裏見の滝と言い伝えられているのである。

前に観た事があるが、この景色は山上なので当時とあまり変わっていないと思う。芭蕉が感激

したのと同じ景色が見られるという幸せが日本にはある。

砂浜を唐鍬(とんが) で叩く馬刀(まて)拾い 公彦

★五島の馬刀貝採りの方法です。

2017年05月02日(火)

ごちやまぜに花種蒔けば花群れる 公彦

★庭に適当に蒔いた種が芽吹き今百科繚乱である。

2017年05月03日(水)

仔馬立つ草原の上陽に押され 公彦

★今日は憲法記念日。

憲法を壊す予定表と憲法を守る団結がぶつかった日となった。

2017年05月04日(木)

逝く人の逝くばかりなり 春の果て 公彦

★この春に歌の仲間が二人、地元の友人が一人、そして昨日はネット上の友人だった泥さんが亡

くなった。春は人の亡くなる季節なのだろうか？

2017年05月05日(金)

夏きたる草刈りし土手の匂いかな 公彦

★江戸川土手はジョギング道の両サイドの菜の花を除いて草が刈られ草の匂いがする。

2017年05月06日(土)

2017年啄木祭が終わりました。甲斐織淳さんの講談と碓田のぼるさんの講演が共に好評でした。赤旗の記者が見えてましたので4-5日後に掲載されるようです。新日本歌人に載ります。過去最高に並ぶ180人の参加でした。写真は受賞者記念撮影です。 <https://pic.twitter.com/7J7obv5XVI>

薄暑光「いちご白書」の朝談義 公彦

★坂本冬美の「いちご白書」では私が好きなフレーズ「僕は無精ヒゲと髪を伸ばして学生集会へも時々出かけた」が抜けています。最後の方の「就職が決まって髪を切ってきた時」との対応が無くなっています。事務所が「学生集会」を嫌ったのではないと思いたいですが。

2017年05月07日(日)

若夏(うりずん)や啄木の夢馳せる夜 公彦

★昨日は啄木祭があった。過去最高の180人の参加だった。二次会で碓田のぼるさんの礫山と啄木

についての追加講演があった。暑い日だった。

2017年05月08日(月)

裏見の滝壺碧潭芭蕉詠む 公彦

今は崩落して通れませんが、43年前に行った日光の裏見の滝は裏から見れました。『奥の細道』には、こうあります。

「廿余丁山を登って滝有。岩洞の頂より飛流して百尺千岩の碧潭に落ちり。岩洞に身をひそめて入て滝の裏よりみれば、うらみの滝と申伝へ侍る也」

2017年05月9日(火)

山小屋の風に梳かれり洗い髪 公彦

★どこの山小屋だったか忘れたが露天風呂に吹くそよ風が洗い髪に爽快だった。

2017年05月10日(水)

目に菜の花山郭公に初鯉 公彦

★初鯉の句が出来ず一日呻吟して名句のパロディとは相成った。江戸川土手は花咲か爺さんが植えた菜の花で一杯です。

2017年05月11日(木)

啄木も見しや昆布刈る釧路 公彦

★啄木の勉強会の最中からです。

2017年05月12日(金)

黒鯛を捌く義弟の指早し 公彦

★五島に住む義弟は魚を捌くのが上手です。

2017年05月13日(土)

亡き友の円座の話朝に泣く 公彦

★亡き友の円座を準備しておくという話に感動した。

2017年05月14日(日)

夏の夜エクセルの数字追いかける 公彦

★夏の夜というには寒い。



2017年05月15日(月)

まとわりて刺し来るは雌 山の蝸(ぶよ) 公彦

★雄は刺さないそうです。決して人間の事ではありません

2017年05月16日(火)

一夜酒父の始めし子ども会 公彦

★甘酒というと子ども会の甘酒祭りを思い出す。冬の行事ではあったが。思えば父は子育てに関わっていた。

2017年05月17日(水)

自信満ち風受け走るヨットかな 公彦

★ヨット体験は少ないがヨットが趣味の友人は何人かいる。ヨットのようにありたいものだ。

2017年05月18日(木)

鉾口は蝙蝠(かわほり)達が守りける 公彦

★鉾口とは足尾銅山の掘削穴の入口の事です。かわほりはこうもりの古語です。

2017年05月19日(金)

茨咲いて新しき道拓けたり 公彦

★来週より再就職が決まった。頑張るしかない。

2017年05月20日(土)

麻服の結婚式の息子かな 公彦

★娘の結婚式に息子は麻の背広を着ていた。

2017年05月21日(日)

小満や尾瀬木道に抜ける風 公彦

★一度だけ行った尾瀬の記憶です。尾瀬のハイシーズンは5月です。

2017年05月22日(月)

アイスティー飲み干し新たな闘いへ 公彦

★今日から新しい闘いが始まる。さあ行かん！

2017年05月23日(火)

花かつみ芭蕉のように惚れてみむ 公彦

★花かつみは万葉集などに歌われているが花は特定されていない。

東北で芭蕉はそれを探して回っている。菖蒲やあやめとも言われる。

郡山市がヒメシャガをハナカツミとして市の花に指定した。デンジソウという説もある。

### 2017年05月24日(水)

繡線菊(しもつけ)の五本の雄蕊屹立す 公彦

★繡線菊は難しい字だが他の花の漢字を当てたという説もある。いずれにせよゴージャスな花である。

### 2017年05月25日(木)

籐寝椅子ジャワの木陰は揺れており 公彦

★三十数年前のインドネシアにいた時の記憶である

### 2017年05月26日(金)

閑古鳥鳴け早番の通勤路 公彦

★この街には郭公が毎年来て木や鉄塔などの高い所から高い声で鳴くが今年はまだ聞かない。

2017年05月27日(土)

蟻の列土曜の朝に 公彦

★蟻に曜日は関係ない。

2017年05月28日(日)

柿若葉綺羅綺羅と陽を弾くなり 公彦

★柿の葉は大きくて強い。

2017年05月29日(月)

おは！twitter俳句（芒種）

土曜は文団連の総会があった。各文化団体の話は参考になった。

事務局長のまとめは次の5点だった。

他の分野の団体との協力

次代の担い手をいかに作って行くか

加盟団体の連携

共同が広がる中での既成組織の役割

行動して創造して組織を拡大する

文化の担う役割が今後大きくなると思います。

-大津留公彦の2016年の句集「蘂」（ひこばい）が完成しました。

#puboo <http://p.booklog.jp/book/106918>句集『蘂』（hikobae) [#puboo](https://twitter.com/puboo)

<http://p.booklog.jp/book/114805>

--

烏賊釣火島のぐるりを幽玄に 公彦

★今年も南からの烏賊が届くかな？

2017年05月30日(火)

とんとんと夏葱刻む妻のよし 公彦

★妻は葱が大好きである。

2017年05月31日(水)

真清水をがぶ飲み頂きさあ行かん 公彦

★日本アルプス登山の記憶である。

## 6月

---

2017年06月01日(木)

唐枕や福の字当たる左耳 公彦

★写真を見ての句です。

2017年06月02日(金)

「ちちちのち」いかりさえずる朝の刻 公彦

★いかりのさえずりは鋭く優しくきれいで複音を繰り返す  
いかりのさえずり <https://m.youtube.com/watch?v=qKRwdp8Ls...>

2017年06月03日(土)

寝冷え子の腹に手を当て「いないいないばあ」公彦

★松谷みよこさんのこの本を子どもたちに何度も読まされた。「もいつかい」と。

2017年06月04日(日)

投網にて一網打尽にしたきもの 公彦

★そういう対象がはっきりとある。

2017年06月05日(月)

顔を見て力む犬あり 芒種かな 公彦

★出勤の途中の公園での犬の排便風景です。見ない振りをしてあげた。

2017年06月06日(火)

まくなぎのただ一匹に好かれたり 公彦

★まくなぎは夏、人の顔などにまつわりつく小さな羽虫。風のない日の夕暮れどきに野道や河原、林などに出てくる。人の目の中へも入り込むので「めまとい」ともいわれる。

2017年06月07日(水)

須賀川の田植え唄より 芭蕉かな 公彦

★風流の初めや奥の田植え唄 芭蕉

曾良日記には旧暦4月24日に等躬の家で田植えがあったと書かれているので、芭蕉は早乙女たちが田植え唄を歌いながら早苗を植える様子を見たのでしょう。

みちのくの田植えは、芭蕉にとって生涯の転機になったのかもしれませんが。

2017年06月08日(木)

池守る叔父の自慢の大出目金 公彦

★亡き母は8人兄弟の長女だった。妹が3人弟が4人いたが弟2人が亡くなった。金魚が好きな叔父は健在である。

2017年06月09日(金)

初鮎や父の塩焼き美味なりし 公彦

- 父は川魚料理が得意だった。

2017年06月10日(土)

手作りの袋掛けたる父の木々 公彦

★枇杷の木に亡き父は新聞紙で作った袋を綺麗にかけていた。

2017年06月11日(日)

前衛ハイクとは何残りしパセリ食う 公彦

- 前衛俳句を前衛ハイクにしてみました。

2017年06月12日(月)

箱眼鏡父と過ごせし七瀬川 公彦

★七瀬川は大分川の支流である。今思うと親戚に近いここに子ども会で行ったのは世話役だった父の選定だったのかも知れない。



2017年06月13日(火)

水喧嘩嫁を返すと買い言葉 公彦

★昔、田圃の水を巡る争いは真剣勝負だった。

2017年06月14日(水)

芭蕉布を織る竹富の人と在り 公彦

★竹富民芸館での記憶である。本来織り方が二種類あり、煮総という製法で織られた物は士族の着物に、それ以外は庶民の夏の着物になっていたようです。

2017年06月15日(木)

牛蛙夜のマンション平定す 公彦

★一時期我が家の庭の水槽に牛蛙が住み着いた事があって夜はその鳴き声が他の音を圧倒した。

2017年06月16日(金)

右左犬を走らすはたた神 公彦

★はたた神は雷。我が家の犬は雷が非常に怖いです。

2017年06月17日(土)

夏風邪の娘の咳は玄関へ 公彦

- 娘は今風邪をひいている。朝早く仕事に行くので部屋から玄関に咳が移動して行くのが分かる。

2017年06月18日(日)

小鳥を守る執念我襲う 公彦

★親鳥は小鳥を守る為に巣を落とそうとする私を襲った。

2017年06月19日(月)

おは！Twitter俳句(実梅)

このところ毎朝愛犬の散歩に付き合っている。  
ほぼ行くところは決まっているがその日の気分で多少変わる。  
でも車の周りを一回りするのとはかならず入っている。  
車で出かけた楽しい思い出があるからか車で出かけたいのだろう。  
次の休みに願いを叶えるかな。

実梅生りわれ育みし家は無し 公彦

★実家の家は父母がグループホームに移り人手に渡り、壊された。その父母も今はこの世にいない。

2017年06月20日(火)

梅雨鯰釣られて残念無念かな 公彦

★鯰だけを狙うフィッシャーもいる。面白いらしい。

2017年06月21日(水)

故郷の地震の報あり夏至霖雨 公彦

★故郷大分で震度五の地震があった。家族は誰もいなくなったが、親族がいます。熊本地震とは震源が違うらしい。

2017年06月22日(木)

柿の花子規に就活ありしかな 公彦

- 「柿の花散るや仕官の暇なき」という正岡子規の句がある。  
子規に柿の花を詠んだ句は多いがこの句は意外だった。もっともこの句は就活等やってる暇はないという句だが。

2017年06月23日(金)

藺座布団義父の葬儀の痺れかな 公彦

★藺座布団はい草で作った座布団。葬儀で呼ばれたが痺れて立ち上がれずひっくり返ってしまった。

2017年06月24日(土)

白日傘真向かう平和の礎へと 公彦

★昨日は沖縄戦が終わってから七十二年目の慰霊の日でした。

おまけ

若き日の妻の写真や白日傘 公彦

- 私が居ない時に父と妻で行った宇佐八幡での写真です。

2017年06月25日(日)

肥え運ぶ父の姿や花南瓜 公彦

★大分の山の上に住んでいた小さい頃の記憶です。

2017年06月26日(月)

おは！twitter俳句（五月雨）

新しい仕事を始めて一カ月がたった。

仕事自体は大変ではないが「高齢者」の立ち位置は難しい。

息子のような世代の上司に仕えなければならぬ。

職場にはもっと年上もいるのが励みになる。

他の職場には74歳の人もいるという。

いつまで続けられるか分からないが可能な限り長く勤めたいと思います。

今は都議選の真っ最中

そのあとは地元の三郷市議選があります。

土日出勤の会社員に出来ることは限られていますが、可能な限り世の中を良くする活動をしたいと思います。

五月雨に点検用紙庇いつつ 公彦

★仕事の句である。

2017年06月27日(火)

葛切りの京の歴史を引き受ける 公彦

★昔暑い京都の街を二人で歩き回った事がある。

勿論今のかみさんとである。

2017年06月28日(水)

麦藁帽子ちひろの絵から抜け出たり 公彦

★いわさきちひろの麦藁帽子を被った子どもの絵は印象的である。

2017年06月29日(木)

梅天や闘う人に優しかれ 公彦

- 都議選が行われている。そのあとは三郷市議選がある。悪政は正されなければならない。

2017年06月30日(金)

十二羽を操る鶺鴒匠巧みかな 公彦

★三月に長良川に行った。鶺鴒飼の時期ではなかったが鶺鴒飼の事を知った。長良川には六人の鶺鴒匠がいていずれも世襲だそうです。

## 2017年07月01日(土)

夜盗虫父の精魂食べ尽くす 公彦

★よくもまあこんなに食べたものだという位夜の中に芋虫が父の甘藍(キャベツ)を食べてしまった記憶がある。無農薬なので美味しかったのでしょう。

## 2017年07月02日(日)

倫敦の白夜のごとく長き日に 公彦

★イラク・イラン戦争で家族とイラクから逃げる途中のロンドンで昼の長さを実感した。

## 2017年07月03日(月)

おは！twitter俳句(夏の日)と都議選結果をどう見るか

都議選は自民党の惨敗となった。  
これは大きな意味がある。

都民ファーストは躍進した。  
これは大きな意味はない。  
反自民の受け皿になっただけだからである。

共産党は前進した。  
これは大きな意味がある。

マスコミの2大政党隊結論のなかでちゃんとした政策をちゃんと訴えていけば支持は集まることを示したからである。

民進の不信は国民には野党共闘にも真面目でない人が居ることを見透かされたのではないだろうか？

今後の野党共闘は共産党が発言権を高める。

立憲野党の共闘しか自民公明の政権を倒せない。

共産党を含む政権交代を現実に展望できることを皆が知った意味は大きい。

夏の日や希望の光射しにけり 公彦

★都議選での自民党の惨敗と共産党の前進は希望の光です。

2017年07月04日(火)

晒布巻き腰を支えてありし日よ 公彦

★腰痛でさらしを巻いていた事があった。今そのさらしは見つからない。

2017年07月05日(水)

青葉木菟驚いているか威嚇しているか 公彦

★青葉木菟の写真を見ての感想を書いたら思いっきり破調でした。

2017年07月06日(木)

堂々と誰憚らず鱒が舞う 公彦

★憚るばかりはさみしいと

2017年07月07日(金)

小暑なる平和行進出発す 公彦

★三郷の平和行進に初めて参加しました。三郷市非核平和都市宣言は広報みさとに年7回全文掲載されている由。

2017年07月08日(土)

水禍あり崩御ありての俳句かな 公彦

★水禍に遭われた方とお母様を亡くされた林先生に心からお悔やみ申しあげます。

2017年07月09日(日)

午睡なり母の香りか掛袋 公彦

★記憶を辿ると母に行き着く。

2017年07月10日(月)

おは！twitter俳句(昼寝人)と衆・参文科・内閣連合審査会

今日の衆・参文科・内閣連合審査会での共産党議員の質問です。

首相の指示があったかどうかの質疑なのに首相が居ないのはおかしい。  
明日帰ってきたら質疑に応じるべし。

なかなか仕事をしていると聞くのが大変です。

昼寝人我が訴えに起きしかな 公彦

★三郷市議選が行われています。16日公示23日投票です。

35歳の深川ともかさんを応援しています

2017年07月11日(火)

竹床几若・玉勝ったか負けたかと 公彦

★母の実家は畳屋で職人さんが何人もいた。若乃花・玉の海が勝ったどうかが話題だった。竹床几(たけしょうぎ)に座っての会話の記憶である。

2017年07月12日(水)

水遣れば面倒くさそうに揚羽出る 公彦

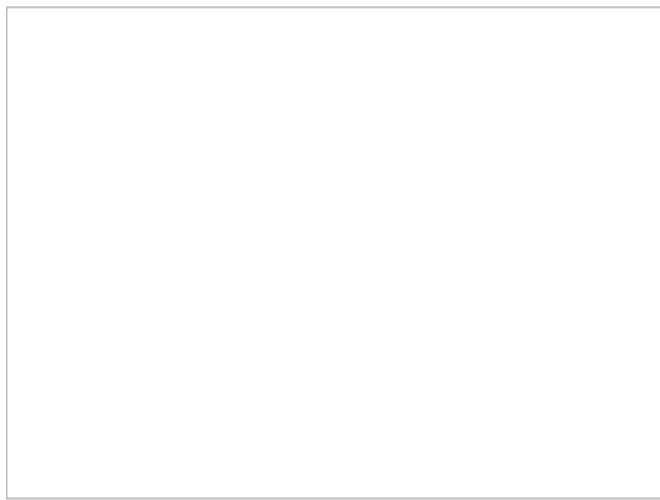


★庭の水遣り時の話である。

017年07月13日(木)

干草やいきれの中に身を沈め 公彦

★こんな感じ。



2017年07月14日(金)

素麺流し子は一列に並びおり 公彦

★五島の義弟が作った素麺流しの竹筒に沿って子や甥や姪が一列に並んだ夏があった。

2017年07月15日(土)

くちなわの堕ちて妹と震えし日 公彦

★山の上に住んでいた小学校に上がる頃に蛇が天井から落ちてきた記憶がある。半世紀以上前の

朧な記憶だが。

[2017年07月16日\(日\)](#)

貨物船レモンスカッシュに閉じ込めて 公彦

★この俳句化です。

<https://youtu.be/TSItLSHG0bQ>

[2017年07月17日\(月\)](#)

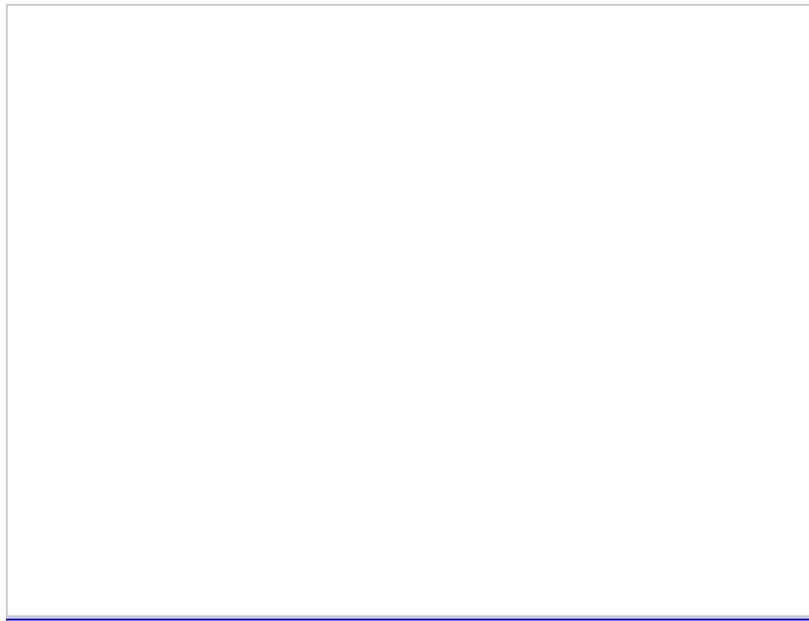
蒲の穂や突然の雨に驚かず 公彦

★がまの穂の句を考えていた朝稲光がして大雨となったが数十分で終わりにわか雨となった。今は晴れ上がり蝉が鳴いている。

[2017年07月18日\(火\)](#)

冷房車の窓から手を出し街に行く 公彦

★三郷市議選で深川ともかさんの選挙カーを候補の休憩の時間に運転してます。



2017年07月19日(水)

霍乱や平安時代のそのごとく 公彦

★鬼の霍乱という言葉は知っていたが霍乱という病気が平安時代からあったとは知らなかった。  
生水を飲むのはやめましょう。

2017年07月20日(木)

仙人掌(さぼてん)の花に被爆者安らぐや 公彦

★核兵器禁止条約は成立したが、核廃絶までまだ道のりは遠い。

2017年07月21日(金)

生ビール 否広告は発泡酒 公彦

★生ビールを飲む機会は減った。家で飲む場合は発泡酒だが、それ自体が減っている。  
今電車の中で見えるのは全て発泡酒のCMです。

2017年07月22日(土)

大水も大旱(おおひでり)もある祖国かな 公彦

★イラクにいるときにイラク人の労働事務所の役人から「水害で貴国は大変ですね。」と言われた。考えたらイラクは年中大旱であり、大水で困るという事は信じられなかったのだろう。

2017年07月23日(日)

大暑なる大願叶うや投票日 公彦

★今日は三郷市議会議員選挙の投票日です。応援する候補の当選を祈ります。

2017年07月24日(月)

おは！twitter俳句（誘蛾灯）と三郷市議会議員選挙

昨日行われました三郷市議選で私の応援した35歳の深川ともかさんは2009票を獲得し当選しました。

衆院選に出る前任の苗村京子さんを上回る4位で当選しました。

工藤ちか子さんは1880票10位

佐藤ともひと1387票16位

いなば春男1165票21位

で応援候補は4人全員当選しました

誘蛾灯朝のうちには句にならず 公彦

★朝からこの季語を持ち歩いて夕方出来たのがこの句。要は句ができないという句です。

2017年07月25日(火)

草蜉蝣(クサカゲロウ)風に吹かれてしなりけり 公彦

★風に吹かれてそのままになっている図です。

2017年07月26日(水)

大雨に打たれていぬや行々子(ぎょうぎょうし) 公彦

★今朝は凄いい雨だった。晴天続きの後の梅雨明け宣言の後だった。行々子は葦切のこと

2017年07月27日(木)

遙けしや七瀬川なるダイビング 公彦

★大分川の支流の七瀬川は自然のプールのようになっている所がありダイビングスポットもあった。今はどうだろうか？

2017年07月28日(金)

明け易き清滝の夜の河鹿笛 公彦

★古い昔の思い出である。

京都の清滝に与謝野晶子のこの歌の碑がある。

ほととぎす 嵯峨へは一里 京へ三里 水の清滝 夜の明けやすき

<https://twitter.com/twryossy/status/890663089150078976...>

2017年07月29日(土)

宮島口のあなご飯三つ贖えど 公彦

★昔広島出張の際に足を伸ばして宮島口のあなご飯を三つ買って帰ったが夕食は済んでおり当日と翌日自分で全部食べたという悲しい記憶です。

2017年07月30日(日)

夏期講座わだつみのこえ朗読す 公彦

★中一の夏先生の自宅に道徳の教材作りに仲間と通い「きけ！わだつみのこえ」を朗読した。長江の詩は今でも覚えている。

2017年07月31日(月)

忘れ汐天草たゆたうばかりなり 公彦

★五島の浜でのイメージである。

おは！twitter俳句（天草）

三郷市議選が終わった。

この闘いの中で100首の歌を作りました。写真も入れて電子出版しました。

[ともかとともに一ドキュメント三郷市議選一短歌100首](#)

この短歌100首は2017年7月に行われた三郷市議選に立候補した深川ともかさんの選挙戦のドキュメントである。

## 8月

---

2017年08月01日(火)

石清水の音に打たれて座禅組む 公彦

★流れてきた石清水の音に癒された。自然と座禅を組んでいた。

2017年08月02日(水)

一切れ買い二人で分ける冷し西瓜 公彦

★最近は西瓜の一個買いはせず一切れ買いです。

2017年08月03日(木)

薄衣の大磯に寄る句会かな 公彦

★元の会社の俳句部で大磯の元陸奥宗光の旧邸で夏に句会をやった事がある。和服の女性がいた。薄衣が兼題だったかもしれない。

2017年08月04日(金)

こどもらにいくさの犠牲晩夏光 公彦

- 戦争は常に弱きものを犠牲にする。特にこどもたちを。

2017年08月05日(土)

夕風の街慰霊碑に手を合わす 公彦

★ 広島は夕風の街と言われてる。

2017年08月06日(日)

夏果つる兆しなけれど夏果つる 公彦

★明日は立秋で暦の上では夏は今日で終わり。しかし実感の上では暑さはこれからである。熱中症を甘く見ないようにしましょう。

2017年08月07日(月)



秋立つや鍵穴の鍵抜けにくし 公彦

★我が家の玄関の事だが会社にも2箇所ほどある。

2017年08月08日(火)

秋津飛ぶ母の願いも乗せて飛ぶ 公彦

★母の願いは核兵器廃絶です。

2017年08月09日(水)

魔の六日九日襟を正すべし 公彦

★「八月や六日九日十五日」の作者は宇佐の人だそうです。

<http://mainichi.jp/articles/20161021/k00/00e/040/244000c...>

2017年08月10日(木)

七十四句子規の拘り稲の花 公彦

★子規の稲の花の句はちょっと調べただけで七十四句もありました。なぜ子規は稲の花にこんなにこだわったのでしょうか。

なぜ子規は稲の花にこんなにこだわったのか <http://bit.ly/2vGy6Bc>

2017年08月11日(金)

青瓢(ふくべ)汗の落ちゆくくびれかな 公彦

★写真を見て作りました。

2017年08月12日(土)

けらつつき赤い帽子のパーカーショニスト 公彦

★写真を見ての句です。

2017年08月13日(日)

魂迎えせめて祈りて勤務へと 公彦

★シフト制の勤務だと盆も休みも関係ない。両親の墓もすぐには行けないしせめて朝遣影に手を合わせて行く。

2017年08月14日(月)

庭と庭秋口の風通り抜け 公彦

★流石に夏も盛りを過ぎたか秋口の風が吹くようになった。

2017年08月15日(火)

ほれちよるばい肥後の盆唄繰り返す 公彦

★[https://youtu.be/G0wJz\\_CJAH8](https://youtu.be/G0wJz_CJAH8)

2017年08月16日(水)

父と並び灯籠流す大分川 公彦

★現在形にしていますが勿論遠い過去の事です。

2017年08月17日(木)

歩きながら寝る人ありき遠案山子 公彦

★学生時代に夜中に福岡から日田まで歩く行事があった。寝ながら歩いていた女性がいた。

今その人は市議員をしている。

2017年08月18日(金)

二艘にて大漁鯛巻き上げる 公彦

★大分の鯛漁の写真を見て作りました。

2017年08月19日(土)

稲妻や滅多矢鱈に犬走る 公彦

★我が家の犬の反応です。

滅多矢鱈の転がやたらめったら。

2017年08月20日(日)

芋の葉の露の集まる掌 公彦

★「芋の葉の露」は七夕の季語

ゆかしい由縁はここに

<http://fragie.exblog.jp/23777616/>

2017年08月21日(月)

送行や山頭火句集道連れに 公彦

★「送行(そうあん)：初秋の行事季語「解夏(げげ)」の傍題の一つ。行脚に出る僧を送る意」 知らない日本語が多い。

2017年08月22日(火)

文月や日の出の遅くなりけり 公彦

★今朝の実感です。

2017年08月23日(水)

鳥唄の流れる庭や処暑の風 公彦

★勿論イヤホンを通してです。

2017年08月24日(木)

路地行けば地藏盆多し京都かな 公彦

★昔高槻に住んでいた時にやっていた京都の路地歩きの影響です。

2017年08月25日(金)

秋晴れや銀座の空を独り占め 公彦

★銀座のビルの屋上の景です。

2017年08月26日(土)

そのかみの田無の銭湯星流れ 公彦

★四十年前住んでいた田無の銭湯通いの思い出である。

庭と庭秋口の風通り抜け 公彦

★流石に夏も盛りを過ぎたか秋口の風が吹くようになった。

2017年08月27日(日)

子の硯洗えば風の通りけり 公彦

★結婚して別に居を構えている息子が使っていた硯である。

2017年08月28日(月)

9月29日午後新日本歌人の文学散歩で子規庵に行きます。

正岡子規の幻の歳旦帳が丁度見れます。

>毎小ニュース：文化 正岡子規、幻の歳旦帳見つかる 未発表5句や自画像など収める -

毎日新聞

<a

href="https://mainichi.jp/articles/20170824/kei/00s/00s/002000c...">https://mainichi.jp/articles/20170824/kei/00s/00s/002000c...

</a>

少女らの願の糸や五色かな 公彦

★中国と日本の行事が混ざった七夕祭り。少女たちの持つ糸は鮮やかです。

2017年08月29日(火)

村の名と威銃ともに消えにけり 公彦

★12年前まで500以上あった村が今は184だそうである。

その内日本から村というものはなくなってしまうのかもしれない。

俳句村でも作るか？

2017年08月30日(水)

白木樅庭の二割を占めにけり 公彦

★今我が家の庭の花の中心は白木樅である。

2017年08月31日(木)

めはじきやまんによろびとのこいのうた 公彦

★めはじきは昔恋歌によく歌われたという。何気ない花だが思いが注がれて来た花なのだろう

ろう

9月

---

2017年09月01日(金)

胸張って腰振って行く勝相撲 公彦

★稀勢の里のイメージです。

2017年09月02日(土)

一葉落つ廃屋となりし安達太良に 公彦

★昔、娘が出来たら桐の木を植えていたという。

その話を安達太良で聞いた時に見た家は廃屋となっていたが桐の木は大きく成長していた。

2017年09月03日(日)

尾を振ってモズの高音のミシンかな 公彦

★モズの鳴く映像からです。

<a href="https://m.youtube.com/watch?v=PCWzdGiUR1U...">https://m.youtube.com/watch?v=PCWzdGiUR1U...</a>

2017年09月04日(月)

日曜までの六連勤がきつかった。

しかし思い起こせば入社ころは土曜も仕事だったので毎週六連勤だった。

体がなまっている。今朝も走ろうと思って家を出たら雨が降ってきてとりやめ。

今は土日の仕事が多いので月曜が休みの事が多い。

今日は地元の会議と買い物と新日本歌人の資料作りで一日終わってしまった。

折角借りていた山崎方代の本は読まないまま図書館に帰すことになってしまった。

先週は沢山歌をアップしたのでまあいい週だったとしよう。

9月9日は啄木が日記にこの歌を書いた日でした。

地図の上 朝鮮国に 黒々と 墨をぬりつつ 秋風を聴く

北朝鮮の建国記念日でもあり、何も無ければいいかと案じていましたが無事過ぎました。

9月10日夜の「NHKスペシャル『沖縄と核』」を見ました。

これは歴史的な番組だったと思います。施政権返還前の沖縄に核が持ち込まれていた証拠が当事者によって明らかにされた訳ですから。非核三原則というのは空文だったことあきらかになりました。

こういう事故がよく70年も起こらないものだと思っていましたが、やはり事故は起こっていたんですね。たまたま爆発しなかったけど、爆発していたら那覇を含む沖縄の何分の一かは廃墟になっていたでしょう。

朝鮮半島に緊張の走るこの情勢を踏まえたものと思います。

NHKの今年最大の成果ではないでしょうか？

識者のtweet

小池晃@koike\_akira

すごい番組です。

今日につながる沖縄の核基地化の実態と背景。衝撃的な事実の連続。沖縄の人々の生命を顧みない日米両政府に心からの怒りが！

志位和夫@shiikazuo

「NHKスペシャル『沖縄と核』」

衝撃的力作。核基地とされ、土地を奪われ、核模擬爆弾で殺され、キューバ危機で破滅の淵に追いやられた沖縄県民。それを容認する自民党政府。「唯一の被爆国の政府のすることか」。古堅実吉氏の怒りが胸に響いた。

Shoko Egawa@ammeris84

Nスペ《沖縄と核》を見る。圧倒的な取材力。沖縄で核兵器を搭載したミサイルの事故など知ら

なかった事実が次々に。沖縄を米軍の核戦略の拠点として選んだのは日本、という米軍関係者らの証言や資料に、日本政府はどう応えるのか。58年前の軍部隊の日報が残され開示される米国。一方、日本は……。

小川一 @pinpinkiri

NHKスペシャル「沖縄と核」。キューバ危機の時、沖縄の米軍は中国に核ミサイルの照準を合わせていた…。いつでも発射できる表示の「HOT」。貴重すぎる歴史的写真に絶句します。そして核ミサイル発射基地の中に初めてカメラが入りました。圧倒的スクープの連続です。

山下芳生 @jcpyamashita

Nスペ「沖縄と核」。機密資料と新証言から「かつて沖縄には全世界を滅ぼす1300発の核兵器があった」「謝って核ミサイルが発射される事故もあった」「沖縄の住民は知らなかったはず」「日本政府が沖縄を選んだ」などが浮き彫りに。古堅さん怒！

先日の江戸川沿いのジョギングの時に偶然稲刈りに出くわした。稲刈り機が左右に動いて行くと稲はあっという間に刈られていく。

刈られた後の稲の穂を目当てにシラサギの仲間が十羽集まって、稲刈り機が過ぎた所を啄んでいた。

稲刈りを応援しているようにも見えた

稲刈りを褒めそやすかな鷺十羽 公彦

日本人の文化の源は米にあると思った朝であった。

動画です。

<https://youtu.be/t5sE9LSGvHU>

浜名湖や孫に釣られし鯊の秋 公彦

★去年家族で浜名湖に泊まった時の思い出である。

2017年09月05日(火)

秋の宿歌集と句集を一つずつ 公彦

★そんな旅をしたいなあという句です。

2017年09月06日(水)

死を思えちちろ虫から言われけり 公彦

★先頃終わったNHKのドラマ「定年女子」の最終回に使われた「メメント・モリ」(瞑れば死を憶へよ)という言葉が頭に残っている。

2017年09月07日(木)



日比谷公園心字の池にも白露かな 公彦

★此の所朝の日比谷公園のファンである。

白露についてのこんな動画があった。

<a href="https://www.youtube.com/watch?v=IV3vrckqyiM&sns=tw...">https://www.youtube.com/watch?v=IV3vrckqyiM&sns=tw...</a>  
@youtubeより

2017年09月08日(金)

爽涼や銀座丸の内一歩き 公彦

★今の職場のある銀座から昔職場のあった丸の内迄まで歩いて地下鉄に乗る事がある。昔とは様変わりした丸の内仲通りである。

2017年09月09日(土)

芒野の仙石原に夢溢れ 公彦

- 子どもたちと行った仙石原の懐かしい思い出がある。

2017年09月10日(日)

母として吊りたる蚊帳の別れかな 公彦

★蚊帳というと叔母の家が思い出される。建て替える前の古い家で蚊帳は必需品だった。その家も母も今はない。

2017年09月11日(月)

落下蟬ひかれひかれて秋の蟻 公彦

- 啼(な) きながら蟻(あり)にひかるる秋の蟬(せみ)  
1895(明治28)年の子規の句を意識しました。  
落下蟬という言葉は造語かもしれません。

2017年09月12日(火)

小牡鹿や奈良公園にそば濡れる 公彦

★親と旅行した半世紀前の奈良公園です。

2017年09月13日(水)

銀木犀香りの主や蓮馨寺 公彦

★この時期にある川越祭りに何度も行ったがここの銀木犀と金木犀の香りに惹きつけられた。

2017年09月14日(木)

秋の声日比谷公園両断す 公彦

★朝の日比谷公園はいい。

先日は外人も入ってラグビーをやっていた。

2017年09月15日(金)

脱穀機埃をあげてはや夕陽 公彦

★終日動いていたイメージです。

2017年09月16日(土)

秋の湖綺麗な国に生まれけり 公彦

★今日の季語に添えられてあった綺麗な湖の写真を探しながらいろんな写真を見た感慨です。結局目的の写真は探し出せなかった。

2017年09月17日(日)

池泳ぐ秋の金魚の朱の影 公彦

★金魚を沢山飼っている叔父の家の池のイメージです。

2017年9月18日(月)

4日は地元の共産党の後援会の集まりをtwicas（動画配信）し、今夜は別記事のように沖縄の報告をtwicasした。

映像に残しておけばきっと誰かの役に立つという信念があります。

残さなければその集会はいずれ忘れ去られますが、映像は永遠に残ります。

皆さん映像で残し拡散しましょう。

それはあなたの関わる団体とあなたの人生のデジタルアーカイブになります。

白鳥座ゼウスの恋は実りしや 公彦

★以下白鳥座の解説です。九月下旬の宵にほぼ日本の真上を通過する星座。アルファ星のデネブを頂点とし五個の輝星が巨大な十字形を描く。ギリシャ神話ではゼウスがスパルタ王妃レダに求愛するとき姿をかえた白鳥であるという。天の川の中にあり星雲や星団に富む。

2017年09月19日(火)

先んじる桜紅葉葉ありにけり 公彦

★関東平野ではまだ桜紅にはなっていないが近所の公園でよく見ると紅葉している葉が何枚かあった。これから温度が下がれば一気に紅葉するのだろう。

2017年09月20日(水)

虫すだき混成合唱なせるかな 公彦

★近所の公園で虫が沢山鳴いていました。合唱団のようでした。

2017年09月21日(木)

罌粟蒔くや下草取りて土返し 公彦

★我が家の庭には罌粟が咲く。一度も植えた事はなかったが鳥が運んできたのだろう。

2017年09月22日(金)

初月夜銭湯帰りの影二つ 公彦

★四十年以上前の田無の新婚時代の記憶です。

2017年09月23日(土)

秋分や勤しむことの大儀かな 公彦

★新しく勤め始めて四ヶ月となりこんな句を「いそしむ」に影響されて作ってしまいました。

2017年09月24日(日)

大群の鯿(ぼら)の錦や鳥の列 公彦

★ボラで水が見えないくらいになっている映像に驚いた。水鳥は入れ食い状態だった。

2017年09月25日(月)

立憲民主党が結党された。

ツイッターのフォロワー数は立憲民主党が21000（結党後数時間）、希望の党（実は絶望の党）は800（結党1週間）

いかにリベラル新党が待ち望まれていたかが分かります。

枝野さんの結党記者会見を聞きましたが、フリーランスを含めた全ての記者の質問が無くなるまで丁寧に答えていた。

与党の官房長官や首相の記者会見に慣れているので非常に新鮮だった。

私は枝野さんの決断を評価します。

立憲民主党が共産党・社民党と市民とがっちり組めれば第三極どころでなく政権に近づくだらう。

極右政党二党対リベラル連合なのですから。

問題は民進党から希望の党（実は絶望の党）に行った候補と闘う共産党・社民党を応援できるかです。

そこで立憲民主党の真価が問われると思います。

埼玉十四区には真っ先に民進党を離党して希望の党（実は絶望の党）に行った前議員がいます。

立憲民主党は共産党の苗村京子さんを応援してほしい。

そうすれば苗村京子さんは自民にも希望の党（実は絶望の党）にも勝てると思います。

それにしても時間がない。

立憲民主党は告示日にポスターは間に合うのだろうか？

草泊まり草千里なる草家族 公彦

★今は機械力の導入で草刈りに草泊まりという風習はないようですが昔は、熊本では学校は臨時休校になり10日も家族で泊まったそうです。

2017年09月26日(火)

出来秋や子規氏生誕百五十年 公彦

★今年は正岡子規と夏目漱石の生誕百五十年であり、明治百五十年でもある。29日には子規ツアーも行う。

2017年09月27日(水)

目覚めれば指十本に朝の冷え 公彦

★窓を開けて寝ているので外気が冷たくなって来た。温度の微妙な季節である。

2017年09月28日(木)

子規庵にありしや飛びつく竈馬 公彦

★明治29年の以下の子規の句からの連想です。旅先かもしれませんが  
灯ともすや竈馬飛びつく仏の眼 子規

2017年09月29日(金)

懸巢啼く昨日と違う声をして 公彦

★昨日今日の政治状況に振り回されて投稿が夜になってしまった。懸巢が誰かなどとは言いますまい。

2017年09月30日(土)

夕さればかりがね寒し文士村 公彦

★昨日は子規文学散歩で鶯谷の子規庵と田端の子規の墓と田端文士村に行った。以下の講演もあった。

子規に学ぶ。奈良達雄さん講演120170929 <http://cas.st/18489eaf>

2017年10月01日(日)

秋圃のこの道を行くまっすくに 公彦

★道にはいろんな道がある。私は一本のまっすくの道を行く。

2017年10月02日(月)

選挙が始まった。

こんな面白い選挙はない。

アベ首相が交代するかもしれない。

立憲野党が躍進するかもしれない。

アベ首相が落選するかもしれない。

公明党の党首が落選するかもしれない。

共産党の入る新政権ができるかもしれない。

僅か10日間の選挙戦

悔いなく闘いをしよう

全国の仲間たち

そして自分

実柘榴やシルクロードの味なるか 公彦

★柘榴はイランの地名ザクロスから来ているという。イラクで食べた柘榴は赤くて大きくて美味しかった。

2017年10月03日(火)

律(りち)の風駅頭さやかにありぬべし 公彦

★呂律(ろれつ)が回らないの律ですが呉音の「りち」だそうです。

2017年10月04日(水)

猫眠る庭の隅より望の月 公彦

★猫と十五夜を見上げていた事もあった。

2017年10月05日(木)

サンダルに履き替えて行く良夜かな 公彦

★一日中履いた靴を脱ぎサンダルに履き替えて団地の防災会の会議に行く途中に見たお月さんはまんまるだった。

2017年10月06日(金)

ずっしりと重き踏船取られたり 公彦

★産卵のために下流に下った卵持ちの船だったのだろう。

2017年10月07日(土)

長さ夜やいろいろの変化ツイートす 公彦

★子規の明治31年のこの俳句に触発されました。

いろいろの変化出て来る夜長哉 子規

2017年10月08日(日)

暖かき猫と在りたる寒露かな 公彦

★その猫は去年亡くなった。

2017年10月09日(月)

麦とろやむき父母美味しと言いつ膳 公彦

★義父母と「浅草麦とろ」で麦とろ横石を食った事があるが、

揃って美味いと言われた事が今や貴重な思い出である。

いつも政治記事は@kimihiikoootsuruの方でつぶやいているが今朝は@ootsuruの方でも3個retweetした。それを紹介します。

umekichi@umekichkun

俺は呼びかけるの苦手。集団行動も好きじゃない。

でも、今週はやる。

今回、安倍晋三の退陣をあきらめかけた。

でも後6日ある。

「立憲民主党」「共産党」「無所属」で、市民連合組まないか、俺達庶民が、手を組めないか。

投票日まででいいよ。

拡散しないか、安倍政権の酷いこの五年を。

未来のための公共@public4f

“渡部は共産、立憲支持層をまとめ、無党派層の半数の支持を受ける”

本日の朝日に掲載された #大阪3区 の共産党候補わたなべ結 (@yuiwatanabe\_osc) さんに関する記述です。共産党の候補者ながら立憲民主党の支持層もまとめたそうです。これはすごい。野党共闘の醍醐味です。 <https://twitter.com/public4f/status/919576386162929664>...

市民連合@shininrengo

#衆院選 MORE PUSH! 近畿ブロック京都1区共産党 穀田恵二(@kokutakeiji)候補

自民党候補とのぎを削っています。お近くの方、ぜひ応援してください!

<https://pic.twitter.com/o6Dw7f8Ks3>

共産党の池内さおりは少しエキセントリックな独特のビジュアルなんだが、彼女は筋金入りのザ・スミス好きで、あれはモリッシーのイメージなのである。とってもロックな人なので、東京12区の人には応援しよう。 <https://pic.twitter.com/1H8EC1LMIG>

2017年10月10日(火)

秋園(た)ける早稲田の街に通り声 公彦

★昨日三郷市早稲田地区にてハンドマイクで15回の演説をしました。「今風は何処に吹いているか」と話していると金木犀のいい香りがそよ風に乘ってやって来ました。

2017年10月11日(水)

牧帰り阿蘇のやまなみ後にして 公彦

★牧帰りとは夏に牧に放されて過ごしたウマやウシを秋になり預け主が引き取ってゆくこと

2017年10月12日(木)

二十三夜講兵士の安全祈りしや 公彦

★二十三夜は、さいたま市南区太田産の川口市境近くにある地名。

“二十三夜”とは、月待ち、つまり月の出を待ち祭る行事の一つで、これに参加する人々の集団を二十三夜講と呼ぶ。

2017年10月13日(金)

雀化(すずめけ)して蛤となり海に啼く 公彦

★「雀化(すずめけ)して蛤となる」の五七全体が季語で発想も突飛もない。中国の人の創造性の何と豊かであることよ。

2017年10月14日(土)

芋畑段々畑のその上に 公彦

- 小さい頃大分の段々畑の山の上に住んでいた。国鉄勤めの父は比較的早く帰りいろいろな物を作っていた。里芋も作っていた。

2017年10月15日(日)

雁渡るくの字の形極るぎなく 公彦

★いつでも、雁が編隊の形を全く変えずに飛ぶのをみて感心した事がある。その飛行の原理を知りたいものである。

2017年10月16日(月)

今回の選挙結果をまとめるとこうなる。

①自民・公明・維新・希望・こころなど改憲勢力はあわせてマイナスイ5議席。共産・立憲・社民の合計は+31議席

②自民党は3割の得票で6割の議席を取った。

<blockquote>自民党がえた比例得票は33%（有権者比17.3%）なのに、全議席の61%の議席を得たのは、もっぱら大政党有利に民意を歪める小選挙区制がもたらしたものであり、「虚構の多数」にすぎません。</blockquote><blockquote>総選挙の結果について <a href="https://t.co/MgpKvT1a8">https://t.co/MgpKvT1a8</a>#日本共産党

③台風の影響もあり戦後二番目の低投票率だった。しかし野党共闘で1対1の構図を作った新潟では、投票率が10%上がった。

④希望の党が前原氏を巻き込んだ民進党の解党がなく野党が共闘していれば63議席で勝敗が逆転していたという。（希望の分が余計だが）

<a href="https://globolethics.wordpress.com/2017/10/24/%e9%87%8e%e5%85%9a%e4%b%80%e6%9c%ac%e5%8c%96%e3%81%aa%e3%82%89%ef%bc%93%e9%81%b8%e6%8c%99%e5%8c%ba%e3%81%a7%e5%8b%9d%e6%95%97%e9%80%86%e8%bb%a2%e3%80%80%e5%be%97%e7%a5%a8%e5%90%88%e7%ae%97/">野党一本化なら63選挙区で勝敗逆転 得票合算の試算 by limitlesslife</a>

前原氏の共産党嫌いがこの結果を生んでしまった。

<blockquote>批判を浴びる前原氏の受け止めは違う。23日未明の会見で、9月の代表就任直後に相次いだ離党騒動について、「最大の理由は共産党との共闘に対する反対だった。民進党のまま野党共闘で突っ込んでいたら空中分解するほどの離党者が出た」と主張。政権選択の衆院選では、安全保障など基本政策が異なる共産との共闘は不可能との立場を取る前原氏は、希望との合流について「何らかの局面展開に賭けた。結果責任は重く受け止める」と振り返った。（石松恒）</blockquote>出典 同上

ついでに言うとか枝野さんの口から共産党との共闘という発言は出てこない。市民と共闘しているというのみ。「元々保守である」とか「護憲派でない」「共産党に首班指名で自分に入れてくれというつもりはない」とかの発言が続いている。

前原氏とも深い仲のようで連絡を取っているようであり、若干心配なところがある。

しかし市民と野党の共闘はそれらの懸念を乗り越えて進むだろう。

立憲民主党の全議員の左足は共産党とだけ理解されているだろうか 公彦

松ぼくり除糞の方言なりとは 公彦  
★驚いたことに松ぼくりは元々は松ぶぐりの関東方言で除糞の事を指すという。驚いただけの無粋な句になってしまった。

2017年10月17日(火)

牛蒡掘る将門園しみ持つなれど 公彦  
★成田山新勝寺の坊入膳は八日市場の大浦牛蒡のお煮染めが名物。依藤太・藤原秀郷が見つけて将門討伐の勝利祈願をした事に因むという。

2017年10月18日(水)

岡籠園の顔を知るや君 公彦  
★そういう鳥のいるような気がします。

2017年10月19日(木)

色草の上にアペロのお小水 公彦  
★アペロは愛犬の名前です。靴です。

2017年10月20日(金)

炉火恋し種田山頭火今何処 公彦  
★なぜか炉火恋しと種田山頭火が繋がりました。

2017年10月21日(土)

枯野の色ものを言わせぬ力かな 公彦  
★枯野の写真に言葉を失った。

2017年10月22日(日)

夜半の秋ネット特番熱きなり 公彦  
★今日の投票日に向けた恒例の共産党のネットの番組を夕べは見ていた。立憲野党三党の前進を願っています。

2017年10月23日(月)

昨日Facebookに映画「校庭に東風吹いて」の原作者である柴垣文子さんから我が師の種田のぼるさんが啄木に触れて「望郷は思想である」とあるといわれたそうなのですがその内容は分かりますかというものであった。早速種田さんに聞いた内容です。

まさに原発被害で故郷を追われた福島の人たちにとって「望郷は権利である」福島の人達の為に岩手出身の啄木が書き残していたと思える程です。以下やりとりを紹介いたします。

――  
柴垣 文子 大津留さま、突然コメントして、申し訳ありませんが、教えてください。種田のぼるさんが、講演をされたときに、啄木を語る中で、「故郷とは思想である」という意味のことを述べられたと、知人にききました。その言葉について、それ以上のことが解りません。ネットで、調べましたが、核心に行きつけません。ずっと気になっています。お手間をおかけしますが、なにとぞよろしくお願いたします。

柴垣 文子 間違いました。「望郷は思想である」だったのでしょうか。

大津留 公彦 「校庭に東風吹いて」の原作者にご質問頂いて大変光栄です。うすださんに電話で聞いてみました。多分明治42年の「田園の思慕」の最後にあるこのことに触れた時にそういう事を言ったのだろうとの事です。田園への思慕は「感情に於てでなく、権利に於てである。」という言葉は含義がありますね。以下該当部分です。



一

私は私の思慕を棄てたくはない、益々深くしたい、さうしてそれは、今日にあつては、單に私の感情に於てでなく、權利に於てである。私は現代文明の全局面に現はれてゐる矛盾が、何時かは我々の手によつて一切消滅する時代の來るといふ信念を忘れたくない。安樂 ウェルビーイングを要求するのは人間の權利である。(明治四十三年十月二十日朝、東京にて)

(明治43・11・5「田園」第一號)

なお全文は青空文庫のここで読めます。

<a

href="http://www.aozora.gr.jp/cards/000153/files/48161\_35936.html" http://www.aozora.gr.jp/cards/000153/files/48161\_35936.html</a>

柴垣 文子

柴垣 文子 大津留さま、ありがとうございます。確田のぼるさんに聞いてくださったのですね。青空文庫も読むことができました。読んで、涙が出ました。 私は今、福島から避難した母と子を「女性のひろば」に連載しております。「田園」の言葉が故郷を喪失した福島の人たちに重なります。思慕は「感情に於いてではなく、權利に於いてである」は、まさに現代の状況をくまなく照らし出しています。

私は、福島から避難した母と子の苦難のみならず、それを越える避難した人ならではの、人間の尊厳を描きたいと思っています。

大津留さんのおかげで、もやもやしていた霧が晴れました。本当にありがとうございます。

大津留公彦 返信有難うございます。涙が出たという記事に涙が出そうになりました。お役に立てて光榮です。この言葉は正に福島の人達の為に岩手出身の啄木が書き残していたと思える程です。いい作品を期待しています。

<a href="http://ootsuru.cocolog-nifty.com/blog/2016/08/post.html">君は場面緘黙症を知っているか(「校庭に東風吹いて」を讀んで)</a>

霜降や悔しさ二つ嘆みしめる 公彦

★一つは共産党の後退です。

2017年10月24日(火)

銀座行くとつとに人と秋の暮れ 公彦

★今の銀座は日本語が珍しい位に外国人が多い、外国人が一番好きたい日本は銀座だそうです。

2017年10月25日(水)

お使いの割らずに帰る新豆腐 公彦

★いにしへの記憶です。

2017年10月26日(木)

霧笛響く横浜の丘灯や 公彦

★昔横浜の山の上に住んでいた。違い話になった。

2017年10月27日(金)

丹波産松茸ご飯噛み締める 公彦

★昨日妻が松茸ご飯を作ってくれた。噛み締めて美味しく頂いた。

2017年10月28日(土)

田鶴渡る移りし稲と補えし田に 公彦

★先日のジョギングで見た風景である。二毛作である。

2017年10月29日(日)

野の色を求めて行かん凡夫かな 公彦

★聖徳太子は、「十七条憲法」の第十条で、「われ必ずしも豊に非ず、かれ必ずしも豊に非ず。共に是れ凡夫のみ」といって、凡夫を「ただごと」といわれ、お互いに許し合つて生きてゆく世界の根本をここにもとめられている。

2017年10月30日(月)

強風に押し戻されて秋小寒 公彦

★江戸川土手を走っている。雲のないいい天気なのだが台風一過の風が凄いのです土手の上でなく下を走っている。水量も凄い。

2017年10月31日(火)

今朝一つ熟字習いぬ仏掌書(つくねいも) 公彦

★この手の断面が仏像の手のひらの形に似ているとは誰の発想であろうか、きっと信仰心の厚い方だったのだろう。

## 11月

---

2017年11月01日(水)

玉章や周りの赤に溶け込みぬ 公彦

★玉章(たまずさ)は烏瓜の事ですが例句は殆ど見つからなかった。

2017年11月02日(木)

安永の野仏濡つ露時雨 公彦

★昨日の朝のジョギングで見た吉川市の野仏の年号は安永と書いてあった

2017年11月03日(金)

「学校」のイノさん夜学に学びおり 公彦

★山田洋次監督の学校シリーズ第1作は夜間中学の物語でした。田中邦衛のイノさんが印象に残っています。[https://ja.m.wikipedia.org/wiki/学校\\_\(映画\)](https://ja.m.wikipedia.org/wiki/学校_(映画))

2017年11月04日(土)

秋季澄む中走り行く凡夫かな 公彦

★秋のランニングは秋の実りや花々もあり心地いい。

2017年11月05日(日)

櫓の木に名手小啄木鳥(こげら)のドラミング 公彦

★本日の今日の季語の皆さんの句に刺激を受けて作りました。

2017年11月06日(月)

この番組を観ました。いい番組でした。

二つの事件事故の被害者に密着取材した、番組制作者の思いが伝わる番組でした。

共通して語られていたのは子を亡くし、今生きている自分への自責の念です。

そしてそれを踏まえた上での社会への発言と行動です。

思えば広島・長崎の犠牲者も同じような自責の念を語られます。

同じようなことを繰り返さないようにこういうことを知り、語り継いで行きたいと思います。

番組タイトル：E T V特集「こいのぼりとしゃぼん玉～悲しみでつながる遺族たち～」 ス放送

日時：2017年11月4日（土）午後11:00～午前0:00（60分）

番組HP：<http://www4.nhk.or.jp/etv21c/>

## 番組内容

「悲しみに寄りそう時、人は人とながれる」ある遺族の言葉だ。突然大切な人を失った、悲しみ・後悔・孤独。事故や災害などさまざまな遺族が交流する時、何を感じるのか？

## 詳細

「悲しみに寄りそう時、人は人とながれる」ある遺族の言葉だ。宮城県名取市にある「閑上の記憶」では、東日本大震災で大切な家族を亡くした人たちと、32年前に起きた日航機墜落事故の遺族との交流が続いている。「なぜ命は失われたのか？」「なぜ救うことはできなかったのか？」「失われた命のために何ができるのか？」共通の思いを持ったもの同士が寄りそい、語り合う。悲しみがつなぐ交流の先に何があるのか？見つめた。

## 出演者ほか

【語り】松岡洋子

紫雲英蒔く(げんげまく)余りしものは畔に蒔く 公彦

★レンゲの花で一杯の田で遊んだ記憶がある。

窒素固定の為の肥料である等という知識もなく。

2017年11月07日(火)

冬立つや念仏のよにまどろめり 公彦

★早く起きたのだがこうなってしまった。

2017年11月08日(水)

草と花映りて影絵の朽葉かな 公彦

★枯れ果てた落ち葉にも見所はある。

2017年11月09日(木)

搔卷(かいまき)やねんねこ半天温き日々 公彦

★搔卷(かいまき)とは、袖のついた着物状の寝具のこと。

2017年11月10日(金)

啄木祉訪ねて冬日落ちにけり 公彦

★文京区音羽1-6-1で今宮神社の横の階段を少し登った左のマンションのゴミ置場に表示だけがあった。鳩山会館の裏だった。これで啄木の東京史跡は全部行った。

2017年11月11日(土)

狸来るな葡萄畑を荒らしには 公彦

★福山の山の中で葡萄を作る妹夫婦には狸は困り者です。

2017年11月12日(日)

冬の浜濱の畔の坂の下 公彦

★濱の畔(くり)は妻の故郷五島の地名です。

2017年11月13日(月)

既に別記事に書きましたが、この選挙中の短歌250首で「左足は共産党」(\*後に「見返りは民主主義」と改題)という歌集が出来ました。ほぼ2週間での作歌量としては過去最高です。(他の人の歌12首も含んでいます。)

短歌の即時性、政治と文芸の関係、短歌とネットなどの問題意識を持っています。

今日からダウンのコートを着て出勤です。

味噌仕込み十ヶ月という時加え 公彦

★味噌ができるまでには時間という味作りの要素が大事のようですね。

2017年11月14日(火)

枯枝に紅き葉七枚残りけり 公彦

★近所の公園の風景です。

2017年11月15日(水)

鱈ちりや戸隠山に籠りし日 公彦

★青春時代に戸隠の民宿に最初はアルバイトで途中から客として二人で一週間位行った事がある。たしか大阪の人が経営者で、そこではてっちりでなく鱈ちりと言っていたような記憶がある。

2017年11月16日(木)

古関の滝涸れて天国への階段か 公彦

★古関の滝は大分との県境に近い熊本にあるそうですが行った事はありません。冬は凍って氷の芸術のようになるそうです。

2017年11月17日(金)

初時雨山頭火の句碑濡らしけり 公彦

★父母がお世話になっていた由布市のグループホームの経営者は山頭火のファンで自宅の前の通りを時雨街道と名を付けいくつも句碑を建てている。

山頭火は昭和4年11月9日に由布市庄内を通っている。

参考

山頭火は何度大分県にきたのか

<http://app.m-cocolog.jp/t/typecast/223234/190315/53751273...>

2017年11月18日(土)

じゃがいも剥く母の手荒れを見しことも 公彦

★遠い記憶です。

2017年11月19日(日)

山頭火大根汁に惚れ込むか 公彦

★山頭火は多くの野菜を句によんだが、野菜の中で最も数が多いのは大根の句だ。ざっと数えても50句はある。「大根はうまいかな、大根はあらゆる点で日本蔬菜の主だ。」日記でこう言っているほど山頭火は大根好きだ。しかし大根汁の句は見当たらない。

2017年11月20日(月)



1週間前に250首の歌集が出来たと書きましたが友人の指摘を受けてタイトルを変更しました。新しいタイトルは「見返りは民主主義」です。

電子出版ならではの事です。

改めてこれです。

```
<script type="text/javascript" src="http://p.booklog.jp/book/118124/badge/m"
charset="utf-8"></script>
```

今日も寒いです。

鯿起し滅多矢鱈に犬走る 公彦

★我が家の犬は雷に異常に反応する。最近は地震アラートにも反応する。これからはJアラートにもかな。

鯿起し(ぶりおこし)は12~1月のブリのとれる時期に鳴る雷。特に日本海側の地方でいう。

2017年11月21日(火)

羽根蒲団干したるのちに陽の匂い 公彦

★幸せの一つですね。

2017年11月22日(水)

達磨忌や面壁九年ある思い 公彦

★壁に向かって九年も修行はしないが達磨さんに見習って少しは努力したい気がする朝である。

2017年11月23日(木)

娘と我と早番勤労感謝の日 公彦

★娘は土日休みだが国民の祝祭日は休みではない。私はシフト制で祝祭日は関係ない。

2017年11月24日(金)

焚火跡石組みのみが残りけり 公彦

★写真の描写です。

2017年11月25日(土)

笑いある父の写真は頬被り 公彦

★父の頬被りの写真は満面の笑みである。

2017年11月26日(日)

櫛(かんじき)や鈴の音遠く宿の朝 公彦

★ 想像句です。

2017年11月27日(月)

三年に及ぶ資本論の学習会が今日終わった。

今日はエンゲルスの書いた第三部の補遺を私がレポートした。

資本論は弁証法の本であり弁証法的唯物論の本であり史的唯物論の本であり、革命理論の本でもある事が分かった。

不破哲三氏の「資本論全三巻を読む」をサブテキストにしてやっと読めた難物であった。

過去福岡、名古屋、大阪で学習会に参加したが通読したのは今日が初めてである。読み通したというだけで達成感がある。

「私が東京を変える」という市民グループの学習行事だった。

「なぜ共産党は嫌われるのか？」というのが当初のタイトルだったがその後「資本論ネットde勉強会」と変わった。一人ではきっと読めなかつたろう。仲間の皆さんに感謝します。

会としては来年安保法制違憲訴訟の準備書面を読む学習会を行う事になった。

私的には啄木全集の読破をしたいと思っています。

なかなか忙しい高齢者である。

酔海鼠(すなまこ)や言いたきことを呑み込んで 公彦

★まあそういう日もあるということで。

2017年11月28日(火)

藪鶯日本平への道示す 公彦

★案内板を見て日本平へのトレッキングに行きたかったなという句です。

2017年11月29日(水)

角巻や子規の毛布と呼びしもの 公彦

★子規のこういう句があった。

毛布著た四五人連や象を見る 正岡子規

毛布は元々寝具ではなく軍の防寒具だったようだ。

参考

春耕俳句会

<http://shunkouhaiku.com/rensai/kinunosaijiki-83-2017-2-451/...>

2017年11月30日(木)

何年も風邪気(かぜけ)の無くて他生丈夫 公彦

★「袖振り合うも他生の縁」という言葉がある。

「他生」はこの世から見て過去および未来の生をいう語で、「多少の縁」と書かれているものも見かけるが、これは「多生」「他生」を同音語の「多少」だと理解した誤用である。

## 12月と跋文とあとがき

---

2017年12月01日(金)

北風金子兜太の恋煩い 公彦

たまたま北風(きたおろし)で探していましたら東京新聞の「平和の俳句」の選句会の記事がありました。

<http://www.tokyo-np.co.jp/article/forum/list/CK2016072302000204.html...>

2017年12月02日(土)

かんかんと備長炭のおこりたり 公彦

★一茶のこの句からの連想です。

くわん〜と炭のおこりし夜明哉 一茶 ■享和三年癸亥(四十一歳)

備長炭は鳥料理などに珍重される。

2017年12月03日(日)

母の忌や透き通るまで蕪煮込む 公彦

★母が亡くなった日は寒かった。母の亡くなった次の日の朝湯布院に初雪が降った。

2017年12月04日(月)

今週は子規と一茶と山頭火の句を紹介した。

ここの所有名人の句の紹介コーナーのようになっている。

8年もやっていると林さんの示される季語が、あまり人口に膾炙しない季語が多くなっているので類句を探す時間が長くなり、その間に興味深い記事を見つける事が多いので紹介したくなるからである。

因み紹介したのは次の句である。

毛布著た四五人連や象を見る 子規

くわん〜と炭のおこりし夜明哉 一茶

これが河豚かと食べてゐる 山頭火

ノーベル平和賞のICAN事務局長のベアトリス・フィンさんのスピーチとノーベル文学賞のカズオ・イシグロさんの話を聞きました。

どれも歴史に残る素晴らしいスピーチです。

学校の英語の授業で使うといいと思います。

授業で習ったリンカーンの演説は今も頭に残っています。

山頭火てっちり食いし中津かな 公彦

★山頭火は大分県中津市でこういう句を作っている。

これが河豚かと食べてゐる

初めて食ったのではないようだが。

出典

種田山頭火のおいしい俳句 作者：種田潔

<http://ncode.syosetu.com/n5142dp/13/>

[2017年12月05日\(火\)](#)

炬燵猫ミャーと口開け声は出ず 公彦

★我が家にいてくれた猫は声をかけると必ず返事をしてくれた。声にならなくても意思疎通は出来ていた。今はいない。

[2017年12月06日\(水\)](#)

ボンネットの青女を少し撫でてやる 公彦

★青女(せいによ)「淮南子」にある、霜雪を降らす女神。転じて霜の別名



2017年12月07日(木)

岩清水飲んで息継ぐ大雪溪 公彦

★山の記憶も遠くなった。

2017年12月08日(金)

逡巡なき砂漠の冬日没りにけり 公彦

★2010年10月12日の記事です。

石榴の実沙漠の夕陽閉じ込めり 公彦

イラクの石榴は旨かった。太陽の当たり方が違うからだろう。

イラクではトマトなどもすごく旨かった。

砂漠の夕陽はあっという間に落ちる

2017年12月09日(土)

襦袢着て机に向かう君との縁 公彦

★襦袢(どてら)を着ている写真が印象にある。出会う前の予備校時代の写真だと思う。妻のことである。

2017年12月10日(日)

冬の川光集めて耀えり 公彦

★三郷駅のホームから見た昨日の江戸川の朝の風景である。

2017年12月11日(月)

鷹狩や川越の街のだ真ん中 公彦

★鷹を連れた若い女性の鷹匠に川越の時の鐘辺りで遭遇したことがある。

この写真です。 <https://pic.twitter.com/h5U3DJ14.jZ>

2017年12月12日(火)

忘年会夕方なればちよいと出る 公彦

★今日は夕方から忘年会なので昼間は妻と板橋美術館に行く予定です。

2017年12月13日(水)

牛鍋や隣の鍋からお裾分け 公彦

★こういう事がよくある。食いっぷりがいいからか。昨夜もそうだった。

2017年12月14日(木)

愛犬に冬着引かれる散歩時 公彦

★休みと遅く出る時は朝ドラを見て食事をしてから愛犬とお散歩となるがその間に待ちきれなくて裾を引っ張る事もある。

2017年12月15日(金)

風冴ゆる永田町に記者の列 公彦

★昨日の民進党本部前には記者の列が出来ていた。

2017年12月16日(土)

仏壇に鶏頭枯るるや子規の部屋

★明治31年の子規のこの句の本歌取である。

仏壇に鶏頭枯るゝ日数哉

2017年12月17日(日)

凍む朝や布団の中に呻吟す 公彦

★凍(し)むという季語に手こずった。朝起きて布団の中での滞在時間が長かった。

2017年12月18日(月)

今日の季語は冬帝

昨日は凍む

一昨日は鶏頭枯る

その前は

風冴ゆ、冬着、牛鍋、忘年会

寒さを表す季語が並ぶ

クリスマスも正月も近い

一年の総括の時期です。

ここには上げていませんが今まで1か月間連続で毎月八首Facebookに投稿しています。

当分続けたいと思います。

もちろん毎日1句は投稿して月曜日にここにアップします。

冬帝の居座る江戸川ほとりかな 公彦

★（ザ・ネット俳句歳時記）には冬帝(とうてい) についてこうあった。

『冬帝は寒さの厳しい冬を擬人化していい冬を司る神というほどの意味である。

単に冬というよりも厳しい冬を統べる神とそこに置かれた人間を含めた万物を感じる。』

2017年12月19日(火)

煤払い父母の写真は柔らかく 公彦

★明治28年の子規の句から触発されました。

煤はいて蕪村の幅のかゝりけり

2017年12月20日(水)

師走市菊池東太郎身罷りぬ 公彦

新日本歌人協会の元代表幹事で現編集長の菊池東太郎さんが亡くなった。

私は悲しい。

2017年12月21日(木)

冬の泉猫は水飲む尾を丸め 公彦

★ 金子兜太さんのこの句に触発されました。

冬の泉に黒猫寄りて長き尾伸ぶ

2017年12月22日(金)

妻買いし冬至南瓜の小さかり 公彦

★妻には南瓜の固さは手強い。小さくても手強い。

2017年12月23日(土)

紙漉女子をあやすごとすかすごと 公彦

★紙漉き人には紙漉きが子育てと同じでしょう。

2017年12月24日(日)

おずおずと慈善鍋へと女の子 公彦

★写真と幸さんの句に触発されて

☆ おずおずと差出す小銭慈善鍋 幸

2017年12月25日(月)

先週こう書きました。

「ここには上げていませんが今まで1か月間連続で毎月八首Facebookに投稿しています。」

この一週間は2017年のまとめの記事でありブログにもアップしました。

年内はアップの予定です。

毎日八首作ればですが、

年木積む子から父へと渡されて 公彦

★父に登場してもらいました。

無季俳句が出来ました。季語難し苦しい時の父母頼み

餅搗きや交代すれば地響きす 公彦

2017年12月26日(火)

紅葉鍋三瓶山小屋二階にて 公彦

★10年前広島之三瓶山の友人の別荘に行く途中で鹿肉(確か雄肉)を買って紅葉鍋会を大勢でやった。

脂分の少ない牛肉と言った感じでした。

2017年12月27日(水)

餅搗きや交代すれば地響きす 公彦

★餅搗(つ)きはつく人によって音が違う。迫力ある人はあまり長持ちしない。自分のように。

2017年12月28日(木)

夜鷹蕎麦母が指令し我走る 公彦

★チャルメラの音が聞こえると母によく買ってくるように言われ井を持って走った。



2017年12月29日(金)

朝習い八周年や蕪鮓 公彦

★毎朝林先生のTwitter @twryossyで提供して頂ける季語で俳句を作って八周年。

朝のこの習いが終わらないと一日が始まらない体になってしまった。

祝！九年目突入！

2017年12月30日(土)

ありがたき息災の年送るなり 公彦

★健康の有難さを感じる年の瀬です。来年も家内と世界が安全でありますように。

2017年12月31日(日)

煩惱の少しは残せ除夜の鐘 公彦

★この句に触発されました。

百八はちと多すぎる除夜の鐘 暉峻康隆

林先生 皆さん 一年間大変お世話になりました。

来年も引き続きよろしくお付き合い下さい。良いお年をお迎え下さい。

跋文

吉平たもつ

大津留公彦さんの句文集『白木槿』の跋文を依頼されてから、一か月以上も経ってしまいました。本来なら盛夏に発行する予定でしたのに、私の不徳の致すところで申し訳ありませんで

した。

大津留さんが俳句を毎日作るきっかけになったのは、「まえがき」や「あとがき」にありますように、毎朝5時に@twryossyさんからtwitterとfacebookで送られて来る季語を使って俳句を作って8年。朝のこの習いが終わらないと一日が始まらない体になってしまったそうです。さらに、大津留さんは短歌も毎日八首作っています。

私は、俳人などと言われて有頂天になるところがありますが、毎日連続して作品を創作してきた著名な俳人は、次の方々です。「藤田湘子は、俳誌『鷹』を創刊して主宰。1983年3月には、新境地を開くため1日10句の多作の試みを開始、3年の間そのすべてを『鷹』に発表し注目を集めました。また、松田ひろむは、『鷗座』の主宰ですが、2012年4月1日より、翌3月31日まで、1日10句の荒行に挑戦し、その作品は第三書館より2017年、『一日十句』として出版されました。（ウィキペディアから抜粋）」

このような俳人と比べても優劣をつけがたいのが大津留さんです。また、65歳の誕生日を機に仕事を一旦やめられましたが、現在は働いています。余暇には、江戸川沿いをジョギングして、時にはロードレースにも参加しています。地元の三郷市の選挙では、100首の短歌を詠み電子出版、さらにはハンドマイクでの演説と、とてもエネルギッシュなのです。

今年5月26日から27日は、文化団体連絡会議（文団連）の全国交流集会在京都で行われ、東京からは大津留さんをはじめ6名が参加しました。27日の午前中は自由行動で「哲学の道」を散策しながら俳句を作りました。選考の結果、最高得点は、大津留さんの〈冷泉の墓陵を覆う草いきれ〉、第2位は〈向月台娘の好きと言ひし夏〉で、これも大津留さんでした。

今回、跋文を書くために365句を私なりに選句しました。最初に選んだのは64句ありました。毎朝送られて来る季語（難解な季語もある）で創作するので、非常に苦勞するのではないかと思います。選句では、次のような初めて知る季語もありました。

02月10日(金) ゆさばりや例句は全く見つからず

★ゆさばりはブランコの事。例句を探すのが常だがこの季語の例句は見つからなかった。（古代中国の宮女の春の遊戯とされていたそうです）

私が最終的に選句した作品を紹介します。

01月18日(水) 身罷りし人一人いて雲降る

01月27日(金) 出稼ぎの荷物は重し土漠の地

03月31日(金) 春心妻とま向かうこと増えし

05月04日(木) 逝く人の逝くばかりなり春の果て

05月19日(金) 茨咲いて新しき道拓けけり

06月03日(土) 寝冷え子の腹に手を当て「いないいないばあ」

06月15日(木) 牛蛙夜のマンション平定す

06月24日(土) 白日傘真向かう平和の礎へと

06月28日(水) 麦藁帽子ちひろの絵から抜け出たり

07月18日(火) 冷房車の窓から手を出し街を行く

08月10日(木) 七十四句子規の拘り稲の花

08月31日(木) めはじきやまんにようびとのこいのうた

09月10日(日) 母として吊りたる蚊帳の別れかな

09月23日(土) 秋分や勤しむことの大儀かな

10月10日(火) 秋蘭(た)ける早稲田の街に通り声

11月19日(日) 山頭火大根汁に惚れ込むか

11月23日(木) 娘と我と早番勤労感謝の日

12月01日(金) 北風金子兜太の恋煩い

12月09日(土) 襦袍着て机に向かう君との縁

12月31日(日) 煩悩の少しは残せ除夜の鐘

俳句は誰でも作れる日本の短詩です。学校教育でもやっています。アメリカの小学校でも英語で俳句を作っています。テレビ番組の「プレバト」は、俳句を作らない人にも大人気です。しかし、俳句を始めると難しいことがわかります。

大津留さんは毎朝、林義雄さん（@twryossyさん）から季語が送られてきます。五七五の文字の内、三分の一はできているから簡単に作れると思うかもしれませんが、これが大変なことなのです。歳時記で例句を調べたり、インターネットで言葉を調べたりしています。

芭蕉の有名な句に〈しづかさや岩にしみ入る蟬の声〉があります。芭蕉が山寺（立石寺）に登ったときは夕暮れで、蟬は鳴いていませんでした。この俳句の中で「蟬の声」を響かせたのは、芭蕉の「心すみ行く」閑さを表し、見えなかった蟬に見えるようにしています。

選句した大津留さんの俳句には、詩（ポエム）があります。そして充実した毎日の生活の様子も綴っています。今年も9年目になりました。健康には気をつけて大いに前進していきましょう。

あとがき

2017年12月29日にこう書きました。

「★毎朝林先生のTwitter @twryossyで提供して頂ける季語で俳句を作って八周年。朝のこの習いが終わらないと一日が始まらない体になってしまった。

祝！九年目突入！」

どうやら十年目にも入りそうです。

季語の解説を外して且つ、難しい季語が多いので分かりにくいかもしれません。

隣の部屋に居住する次女から毎朝何をスマホでやっているのかと問われ、やらなければならないことだといい、俳句だと言った。

俳句がやらなければならないことかと言うのでそうだと答えた。

(どうやら次女にはいい人が出来たようだ。)

私の場合は短歌も毎日八首作っているので実はそっちの方が大変なのだが、昔の作品や単発シリーズなども織り交ぜて11ヶ月続けている。

人間、九年も続けているということは生涯やるということだろう。

人間、11ヶ月も続けているということは来年もやるということだろう。

これからも元気で俳句も短歌も続けて行きたいと思います。

人生とは歌です。歌いなさい(マザー・テレサ)

2018年 神無月 三郷にて 大津留公彦

白木 槿

<http://p.booklog.jp/book/124052>

著者 : ootsuru

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/ootsuru/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/124052>

電子書籍プラットフォーム : パプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社トゥ・ディファクト